

東京ブライダル専門学校  
情報公開資料

－授業科目一覧－

学校法人トラベルジャーナル学園

都作成参考例【国及び都が定める添付資料①】

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表  
(ブライダル科)

科目区分	授業科目	授業時間数	うち実務教員による授業	授業時間数	うちシラバス添付	授業時間数	備考
講義	ショートホームルーム	28		28			
	ホスピタリティ・SDGs研究	30		30			
講義	業界英会話	60		60			
講義	キャリアガイダンス	60		60			
講義	ビジネスプレゼンテーション(BTS)	60		60			
講義	ブライダル産業知識	60	○	60	☆	30	
講義	ブライダル業界研究	30	○	30			
講義	ブライダルワークセッション	30	○	30			
講義	バリエーションウェディング	30	○	30			
講義	キャリアガイダンスⅡ	60		60			
講義	プロジェクトマネージメント	120	○	120			
講義	イベントプランニング	120	○	120	☆	30	
実技	婚礼宴会サービス	120	○	120			
演習	ブライダル発表会	60	○	60			
講義	セールスプロモーション	60	○	60			
実技	接客スキルトレーニング	30	○	30			
実技	ボイストレーニング	30	○	30			
実技	所作・ウォーキングレッスン	30	○	30			
実技	セルフビューティ	30	○	30	☆	30	
演習	表現力演習	30	○	30			
実技	婚礼衣裳	90	○	90	☆	60	
実技	婚礼フラワーコーディネート	30	○	30			
講義	色彩基礎知識	30	○	30	☆	30	
実技	フォトコンテスト	30	○	30			
実技	おもてなし手話	30	○	30			
講義	ブライダルマーケティング	30	○	30			
講義	デジタルマーケティング	30	○	30			
講義	ライフワークバランスコーチング	30		30			
講義	選)デザインコミュニケーション	90	○	90			
講義	選)ファッショントレンド研究						
講義	選)フィジカルトレーニング						
講義	選)日本文化研究						
講義	選)海外ウェディング研究						
実習	実)ブライダル企業実習	240					
	入学オリエンテーション	12					
	ホスピタリティ入学研修	12					
	後期始業ホームルーム	4					
	卒業式前ホームルーム	4					
総授業時数		1,680 (1,746)		1,468		180	
		1,397					

※総授業時数は科目・区分が講義や実技、実習に該当しないものを除いた合計数。(○)内の時間は該当しないものを含めた合計数)

東京ブライダル専門学校  
情報公開資料

—理事名簿—

学校法人トラベルジャーナル学園

---

《学校法人トラベルジャーナル学園 理事一覧》

(理事長)

理事長 森谷 博 (学) トラベルジャーナル学園 理事長

(専務理事)

専務理事 岸本 信夫 (学) トラベルジャーナル学園 東京本部 本部長

(常務理事)

常務理事 高田 直樹 (学) トラベルジャーナル学園 大阪本部 本部長

(理事)

理事 内菌 幸一 (学) トラベルジャーナル学園  
ホスピタリティツーリズム専門学校校長  
東京ブライダル専門学校校長

理事 大内 明男 (学) トラベルジャーナル学園 大阪本部 総務部長

理事 宮崎 智恵 (学) トラベルジャーナル学園 東京本部 教務部長

理事 森谷 隼人 (学) トラベルジャーナル学園 シアトル本部 所属

理事 岩瀬 賢治 株式会社テイクアンドギヴ・ニーズ 代表取締役社長

理事 西尾 忠男 株式会社ジャルパック 代表取締役会長




東京ブライダル専門学校  
情報公開資料

ーシラバスー

学校法人トラベルジャーナル学園

# 授業計画書

学部	昼	年次	1	学科	ブライダル科			コース		
クラス			J	時間数	30	単位数	2	区分	専門	必修
科目名			ブライダル産業知識				講師名	吉田真生		
担当講師の実務経歴			○	実務経歴		株式会社Foursis&Co.にてドレスコーディネーター、また店長及び課長として5年間ブライダル業界に携わる。				
授業のねらい・学期の達成目標						授業概要と進め方				
ブライダルコーディネート技能検定3級の100%合格を目指す						授業形式：講義および実技等 業界・挙式など結婚式に関する基礎知識、婚礼打合せ業務、アイテム・手配や当日業務について学びブライダルマーケットを理解する。 BIAテキストを使用しながら、試験内容の学習を行う。				
実施回数	実施日	学習内容				各回の到達目標			確認テスト	
								形式	点数	
1	4/12	・オリエンテーション ・シラバス・資格説明 ブライダルコーディネーターとは				資格の内容、シラバス理解 ブライダルコーディネーター定義の理解				
2	4/19	Lesson3 ブライダルの基礎 第4～6章 キリスト教式、神前式、仏前式				キリスト教式、神前式、仏前式の理解				
3	4/26	7章～11章 人前式、シビル・マリッジ 披露宴、海外ウェディングと新婚旅				人前式、シビルマリッジ、披露宴、海外ウェディング、新婚旅行、二次会を理解する				
4	5/10	Lesson1 結婚とは 第1章～第2章 結婚の定義、日本の結婚式、歴史と				結婚の定義と日本の結婚式の歴史と文化を理解する				
5	5/17	第3章 欧米の結婚式・歴史と文化				欧米の結婚式の歴史と文化を理解する				
6	5/24	中間テスト Lesson2 ブライダルビジネス 第1章～第3章 ブライダルビジネス・市場、業種				ブライダルビジネスの市場と業種を理解する			筆記	40
7	5/31	第4章～第5章 ブライダル関連業種、エリア特性				ブライダル関連業種、エリア特性、1年と集客システムを理解する				
8	6/7	スポーツデー/パラスポーツデー								
9	6/14	振替休日								
10	6/21	第6章 業界の1年と集客システム Lesson3 ブライダルの基礎 第1章 見合いと婚約				業界の1年と集客システムと、見合いと婚約を理解する				
11	6/28	第2章～第3章 結納・婚約式、ブライダルの準備				結納、婚約式、ブライダルの準備について理解する				
12	7/5	Lesson4 コーディネーター業務 第1章～2章 コーディネーター業務と新規業務				コーディネーター業務と新規業務を理解する				
13	7/12	期末テスト第3章～第6章 ブライダルセールスについて学ぶ 期末テスト対策				ブライダルセールスの特徴、ホスピタリティ営業、プランニング、プレゼンテーション手法について理解する			筆記	60
14	7/19	第7章～9章 新規アフターフォロー 成約業務、ペーパーワーク				新規アフターフォロー、成約業務ペーパーワーク				
15	9/6	特別授業				前期総復習				
16	9/13	特別授業				特別授業				
追試詳細						達成度評価			使用教材	
・公欠と病欠が対象で筆記試験のみ実施 ・公欠はWebポータルから公欠届の申請と、申請用サイト（左記）から追試の事前申請が必要 （シラバス記載のテスト実施日の17:20まで受付） ・病欠は公欠届の申請はできませんが、追試の事前申請が必要（WEBポータルのメッセージにて申請） ・試験期間は年間スケジュールに記載 ・追試対象者に学校からの連絡はありません ・追試日にやむを得ず受験不能の場合は吉田へ						申請サイト				
										
						A	80点以上			
						B	70点以上			
						C	60点以上			
						D	59点以下			



# 授業計画書

学部	昼	年次	1	学科	ブライダル科		コース			
クラス			JKL	時間数	30	単位数	2	区分	専門	必修
科目名			イベントプランニング				講師名	大里 海音		
担当講師の実務経歴			○		実務経歴	2011年より株式会社ベストブライダルにてウェディングプランナー兼サービスキャプテンとして勤務。2017年より株式会社テイクアンドグウィ・ニーズにてウェディングプランナーとして勤務したのち、2021年度より本校兼任。担当施行組数350組、キャプテン実績1000件。				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方					
ブライダルの基礎知識、ウェディングプランナーの業務内容を学び、ウェディングプランナー業務に挑戦する。前期終了時点で、チームで模擬挙式の施行ができる状態にする。					授業形式：講義および実技等 結婚式の日、ウェディングプランナーの業務内容を理解し、模擬挙式をプランニングするスキルを習得する。					
実施回数	実施日	学習内容			各回の到達目標			確認テスト		
								形式	点数	
1	4/12	オリエンテーション・他己紹介 プランナー仕事紹介・グループ発表			<input type="checkbox"/> 授業の目的・目標を述べることのできる <input type="checkbox"/> プランナー業務を理解し、ヒアリングを実践する			課題	10	
2	4/19	他己紹介発表 挙式スタイルについて			<input type="checkbox"/> 他己紹介発表を実施できた <input type="checkbox"/> 挙式スタイルについて理解した			課題	15	
3	4/26	人前式について			<input type="checkbox"/> 人前式について理解した <input type="checkbox"/> 人前式の演出例を学んだ			課題	10	
4	5/10	コンセプトとは			<input type="checkbox"/> コンセプトについて理解した <input type="checkbox"/> コンセプトシート作成方法を理解した			課題	10	
5	5/17	コンセプトシートの作成			<input type="checkbox"/> ヒアリングシートから新郎新婦様を理解した					
6	5/24	コンセプトシートの作成・完成			<input type="checkbox"/> 新郎新婦様に合わせたコンセプトシートを作成した <input type="checkbox"/> グループごとのコンセプトをチーム内で共有できた			課題	15	
7	5/31	進行表について BGMについて			<input type="checkbox"/> 進行表について理解した <input type="checkbox"/> BGMの選出の仕方を理解した			課題	10	
8	6/7	スポーツデー/バラスポーツデー								
9	6/14	ブライダル科休講			ブライダル科休講					
10	6/21	模擬挙式の進行表の作成 アイテム検討			<input type="checkbox"/> 運営を経て進行表の見直し、改善、進行表を再考した <input type="checkbox"/> 作成物をリストアップし、準備の方法を考えた					
11	6/28	模擬挙式の進行表の見直し アイテム準備			<input type="checkbox"/> 運営を経て進行表の見直し、改善、進行表を再考した <input type="checkbox"/> 作成物をの準備をした			課題	15	
12	7/5	プレゼンテーション準備			<input type="checkbox"/> 模擬挙式後に行うプレゼンテーションの資料を準備した			課題	15	
13	7/12	プレゼンテーション準備			<input type="checkbox"/> 模擬挙式後に行うプレゼンテーションの資料を準備した					
14	7/19	模擬挙式最終準備 プレゼンテーション最終準備			<input type="checkbox"/> 模擬挙式最終調整を行った <input type="checkbox"/> プレゼンテーション最終準備を行った					
15	9/6	特別授業			特別授業					
16	9/13	特別授業			特別授業					
追試詳細					達成度評価			使用教材		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・公欠者が対象</li> <li>・Webポータルでのメッセージで授業担当者へ事前申請が必要（シラバス記載のテスト実施日の17:20まで受付）</li> <li>・試験期間は年間スケジュールに記載</li> <li>・追試対象者に学校からの連絡はありません</li> <li>・追試日にやむを得ず受験不能の場合は担任へ連絡すること</li> </ul>					申請サイト		A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下			



# 授業計画書

学部	昼	年次	1	学科	ブライダル科			コース		
クラス			JKL	時間数	30	単位数	2	区分	専門	必修
科目名			セルフビューティー				講師名	関根 教史		
担当講師の実務経歴		○		実務経歴	サロンワーク・ヘアメイクの仕事を経て現在はフリーランスにて活動、その経験に基づき、美容方法を指導している。					
授業のねらい・学期の達成目標						授業概要と進め方				
美容全般の基礎知識や心構えを理解した上で、ブライダルにふさわしいシーンを構成でき、現場でのサービスの質を見極められる人材を育てる。						授業形式：講義および実技等 ヘア・メイクの基礎知識、技術を学びながら、印象を与えるメイク、ヘアスタイルを学び、バランス感覚を身につける。				
実施回数	実施日	学習内容	各回の到達目標	確認テスト						
				形式	点数					
1	4/13	オリエンテーション ヘア基礎知識	授業の意義目的、シラバス、評価方法、追試験 ※ウィッグ、キーパー、ブラシ、コーム、タッカー、ゴム、ピン類の使い方を理解した。	実技						
2	4/20	ヘア基礎	前回の復習 ゴム、ピン、ブラシ、コーム、タッカーの使い方、作業手順を理解した。※ウィッグ作業	実技						
3	4/27	ヘア基礎	前回の復習 まとめ髪とシニヨンの作業が出来る。 ※ウィッグ作業	実技						
4	5/11	ヘア基礎	前回の復習 三つ編み、編み込み手順、セルフ夜会作業を理解した。 ※ウィッグ作業、セルフ作業	実技						
5	5/18	ヘア基礎	前回の復習、中間テスト説明を理解した。 シニヨン、三つ編み、編み込み作業が出来る。 ※ウィッグ作業、セルフ作業	実技						
6	5/25	中間テスト	中間テスト段取り確認 中間テスト実施 ※ウィッグ作業	実技	40					
7	6/1	メイク基礎	メイク基礎知識、フェイスプロポーションを理解した。 衛生面、作業上の注意事項、スキングア、ファンデーション手順を理解した。※メイクデモンストレーション	実技						
8	6/8	メイク基礎	前回の復習 眉毛の印象と形、作業手順説明①を理解した。 ※セルフメイク作業	実技						
9	6/15	メイク基礎	前回の復習 眉毛の印象と形、作業手順説明②を理解した。 ※セルフメイク作業	実技						
10	6/22	メイク基礎	前回の復習 ポイントメイク説明、作業を理解した。 ※セルフメイク作業	実技						
11	6/29	メイク基礎	前回の復習、期末テスト説明を理解した。 ポイントメイク説明、作業が出来る。 ※セルフメイク作業	実技						
12	7/6	期末テスト	期末テスト段取り確認 期末テスト実施 ※セルフメイク作業	実技	60					
13	7/13	フィードバック	自身の苦手な部分を理解することが出来た。 自身の今後の課題を見つけることが出来た。							
14	9/7	特別授業	特別授業							
15	9/14	特別授業	特別授業							
追試詳細				達成度評価	使用教材					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・公欠者が対象、次回の授業内、又は、状況に応じて実施</li> <li>・試験期間は年間スケジュールに記載</li> <li>・追試対象者に学校からの連絡はありません</li> <li>・追試日にやむを得ず受験不能の場合は担任へ連絡すること</li> </ul>				申請サイト	<b>A 80点以上</b> <b>B 70点以上</b> <b>C 60点以上</b> <b>D 59点以下</b>	※ヘア道具（学校共有教材） ※メイク道具（私物・学校共有教材） ※鏡（私物・学校共有教材）				



# 授業計画書

学部	昼	年次	1	学科	ブライダル科			コース		
クラス			JKL4	時間数	30	単位数	2	区分	専門	必修
科目名			婚礼衣装				講師名	吉田真生		
担当講師の実務経歴		○		実務経歴	株式会社Foursis&Co.にてドレスコーディネーターを経験、また店長及び課長として5年間ブライダル業界に携わる					
授業のねらい・学期の達成目標						授業概要と進め方				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブライダル仕事をする上で重要な衣装の種類、名称、サイズ、素材などを習得する。その知識を学び、接客に繋げる授業を行う。</li> </ul>						授業形式：講義および実技等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ブライダルにおける婚礼衣装知識に重点を置き、より授業内容を理解する為、実際に衣装に触れたり、ワークショップを取り入れ進めます。</li> </ul>				
実施回数	実施日	学習内容	各回の到達目標	確認テスト						
				形式	点数					
1	4/13	シラバス説明、ドレス接客について	婚礼衣装接客について							
2	4/20	ドレスの歴史	ドレスの歴史を理解する							
3	4/27	ドレスのデザイン	ドレスの細部の名称を理解する							
4	5/11	ドレスのデザイン	ドレスの細部の名称を理解する							
5	5/18	サイズ表記について	サイズ感覚を身に着ける	筆記①	25					
6	5/25	ドレスフィッティング①	ドレスの着せ方を学ぶ							
7	6/1	ドレスフィッティング②	きれいに着付ける技術を学ぶ	課題①	25					
8	6/8	ドレス小物について	小物の種類、用途を学ぶ							
9	6/15	メンズ衣装について	メンズ衣装の名称、小物を学ぶ	筆記②	25					
10	6/22	メンズフィッティング	メンズ衣装のフィッティングを行う							
11	6/29	参列衣装①	参列衣装の種類を学ぶ							
12	7/6	参列衣装②	参列衣装の種類を学ぶ	課題②	25					
13	7/13	まとめ、フィードバック	前期まとめとフィードバック							
14	9/7	特別授業	特別授業							
15	9/14	特別授業	特別授業							
追試詳細				達成度評価		使用教材				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・公欠と病欠が対象で筆記試験のみ実施</li> <li>①テスト当日17:20までにWEBポータル吉田宛にメッセージ</li> <li>②課題もしくは筆記の追試日をご連絡致します</li> <li>③再試験日当日に公欠書類、または病院の領収書を持参 (書類を紛失した場合は点数は0点です)</li> </ul>				申請サイト		A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		<ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレット</li> <li>・白手（別途購入）</li> </ul>		




# 授業計画書

学部	昼	年次	2	学科	ブライダル科			コース		
クラス			WXY	時間数	30	単位数	2	区分	専門	必修
科目名			婚礼衣裳				講師名	坂田依智子		
担当講師の実務経験		○		実務経験	ウェディング総合プロデュース会社「TAKAMI BRIDAL」にて、ドレススタイリストまたは責任者として式場やホテルの現場で15年以上の婚礼衣裳業務経験あり					
授業のねらい・学期の達成目標						授業概要と進め方				
婚礼和装の歴史から意味を理解し、新郎新婦、列席者の和装を正しい知識でご案内ができる。 JWSA認定ウェディングファッションスタイリスト検定の合格。						授業形式：講義および実技 現場での経験を伝え、様々なシチュエーションを想定しながら和装の知識を学ぶ。実技を通して、着物の取り扱いに慣れる。				
実施回数	実施日	学習内容	各回の到達目標	確認テスト						
				形式	点数					
1	4/14	オリエンテーション 新婦の和装の基礎知識	新婦の和装の歴史、種類、色について理解した							
2	4/21	新婦の和装の基礎知識 着物、腰紐の扱い方	着物の生地、技法についてを理解した 腰紐をたたむことができる							
3	4/28	新婦の和装の基礎知識 夜具たたみ	着物の模様付け、文様についてを理解した 夜具たたみができる							
4	5/12	新婦の和装の基礎知識 打掛のフィッティング	新婦の和装の小物についてを理解した 打掛のフィッティングの手順を説明できる							
5	5/19	新婦の和装の基礎知識 夜具たたみ	新婦の和装の各部位、サイズを理解した 夜具たたみが素早く綺麗にできる							
6	5/26	中間テスト		筆記 実技	40					
7	6/2	中間テスト返却、フィードバック 本たたみ・紋服のたたみ方	本たたみ・紋服のたたみ方の手順を説明できる							
8	6/9	新郎の和装の基礎知識 本たたみ・紋服のたたみ方	新郎の和装について理解した 本たたみ・紋服のたたみができる							
9	6/16	婚礼和装の基礎知識 本たたみ・袴のたたみ方	家紋、留袖について理解した 本たたみ・袴のたたみが素早く綺麗にできる							
10	6/23	小テスト		実技	10					
11	6/30	検定試験対策	検定試験問題を解くことができる							
12	7/7	期末テスト		筆記 実技	50					
13	7/14	フィードバック	学習した内容の知識の定着度の確認、今後の課題がわかった							
14	9/8	特別授業	特別授業							
15	9/15	特別授業	特別授業							
追試詳細				達成度評価		使用教材				
・公欠者・病欠者が対象で筆記試験のみ実施 ・公欠、病欠の方はWEBポータルにて吉田先生へ連絡すること （シラバス記載のテスト実施日の17:20まで受付） ・試験期間は年間スケジュールに記載 ・追試対象者に学校からの連絡はありません ・追試日にやむを得ず受験不能の場合は吉田先生へ連絡すること				申請サイト		テキスト：JWSAウェディングファッション①				
				A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下						



# 授業計画書

学部	昼	年次	2	学科	プライダル科			コース			
クラス			時間数	30	単位数	2		区分	専門	必修	
科目名			色彩基礎知識					講師名	高橋名都紀		
担当講師の実務経験		○			実務経歴	日本カラーコーディネーター協会 認定講師。各種学校での色彩関連の講座を担当。また、行政や企業などの団体へのカラーセミナーの企画・講師をしており、個人向けのパーソナルカラー診断も行っている。					
授業のねらい・学期の達成目標						授業概要と進め方					
色の基本的な知識を学んだ上で、衣装やヘアメイク、会場作りなどをお客様に合わせた提案ができるようになること。色から受けるイメージや影響をビジネスや日常生活など全てのシーンに「色」が活かされていることを体感すること。ビジネスシーンや自己表現に「色」を生かせるようになること。色彩活用パーソナルカラー検定3級取得を目指す（検定試験日：7月19日(水)放課後）						授業形式：講義および実技等 パーソナルカラー（自分に似合う色）を知るとどんなメリットがあるのか？ドレーピング実習を実施し、自分の似合う色を体感しながら「自分らしさ」と向き合っていく。似合う色を知るだけではなく、自分らしい取り入れ方など色の活用法を学んでいく。 色彩活用パーソナルカラー検定公式テキストに沿って進めていく。					
実施回数	実施日	学習内容	各回の到達目標	確認テスト							
				形式	点数						
1	4/12	オリエンテーション（授業の目的） パーソナルカラー概要	パーソナルカラーの目的、PIと自分ブランディングについて学ぶ								
2	4/19	色の基本 パーソナルカラーの色分類	色の三属性、トーン パーソナルカラーの色の分類方法を学ぶ								
3	4/26	パーソナルカラーの色分類 カラージュ作成	カラーパレット作成（色彩傾向とイメージ） 4シーズンの色の違いを見極める								
4	5/10	カラージュ作成 色素傾向/色素チェック	色素の特徴をおさえる 自分の色素を確認し似合うタイプを予想する								
5	5/17	ドレーピング実習①	ドレーピング手法を学ぶ 似合う色と似合わない色の見え方の確認	筆記	40						
6	5/24	ドレーピング実習②	ドレーピング手法を学ぶ 色によって印象が変わることを体感する								
7	5/31	似合う色の取り入れ方 ウェディングシーンの取り入れ方	各タイプの取り入れ方（色・柄・素材・メイク） 似合う色と似合わない色を取り入れるポイント								
8	6/7	スポーツデー/パラスポーツデー									
9	6/14	色名 対比	系統色名と慣用語名の違いをおさえる どのような色の見え方があるのかを整理する								
10	6/21	反射・吸収 色と光	色と光の関係を学ぶ 検定対策として、問題集を解く								
11	6/28	テスト（模擬試験）	検定試験問題に慣れる	筆記	60						
12	7/5	模擬試験解説	検定試験問題に慣れる								
13	7/12	検定対策	検定試験に向けて抑える・覚えるポイントの確認								
14	7/19	総復習 フィードバック									
15	9/6	特別授業	特別授業								
16	9/13	特別授業	特別授業								
追試詳細			達成度評価		使用教材						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・公欠者が対象で筆記試験のみ実施</li> <li>・申請用サイトから事前申請が必要（シラバス記載のテスト実施日の17:20まで受付）</li> <li>・試験期間は年間スケジュールに記載</li> <li>・追試対象者に学校からの連絡はありません</li> <li>・追試日にやむを得ず受験不能の場合は担任へ連絡すること</li> </ul>			申請サイト	<ul style="list-style-type: none"> <li>A 80点以上</li> <li>B 70点以上</li> <li>C 60点以上</li> <li>D 59点以下</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公式テキスト</li> <li>・公式問題集</li> <li>・新配色カード199a</li> <li>・PCCSトーン(演習台紙)</li> <li>・はさみ</li> <li>・のり</li> </ul>						
											

◇D

# 東京ブライダル専門学校 情報公開資料

—成績評価—

---

学校法人トラベルジャーナル学園

## 厳格かつ適正な成績管理の実施について

学校法人 トラベルジャーナル学園  
ホスピタリティ ツーリズム専門学校  
東京ブライダル専門学校

### 1. 成績評価の方法・基準について

- (1) 授業計画書（シラバス）に評価方法、評価基準を記載している。
- (2) 評価方法は実技試験、筆記試験、その他（課題等）により行う。
- (3) 評価は A、B、C、D、R の 5 種類。評価基準は基本、80 点以上で A 評価、70 点以上で B 評価、60 点以上で C 評価となり、認定として単位を与える。59 点以下または予め設定された目標レベルを下回る場合や試験を受験しなかった場合は D 評価となり、不認定として単位を与えない。  
また R 評価とは、成績評価外の行事・救済措置の再学習などの認定や早期内定実習で成績評価を受けることができない場合の評価基準である。  
評価対象の課題提出などにより、包括的に評価する。

### 2. 成績の客観的指数について

- (1) GPA により客観的な指標を設定しており、算出方法は (2) の通りである。
- (2) 5 種類の評価のポイントは、A=3、B=2、C=1、D=0、R=1 もしくは R=2 とし、合算したものが GP 合計値となる。その GP 合計値を履修した科目数で割ったものが GPA 値となる。  
※GPA は学期ごとに算出し、全体の成績評価を行う。  
※R 評価については、成績評価外の行事・救済措置の再学習などの認定は 1 ポイント、早期内定実習は 2 ポイントとして換算する。

### 3. 成績評価の使用について

算出した成績評価は前期 10 月・後期 3 月に、各学生本人に通知する。  
GPA 算出後は、成績下位者に対し再学習を実施する。



◇E

東京ブライダル専門学校  
情報公開資料

－ 2023年度 学生便覧－

学校法人トラベルジャーナル学園

## 5. 進級・卒業基準

出席した授業時間数と修得した単位数がともに、以下の基準を満たすことにより進級・卒業を認めます。

### (1) 進級基準

以下の①～③すべての基準を満たし、1年次末の進級判定会議で進級の承認が必要です。

- ① 出席した授業時間数が1年次の総授業時間数の80%（卒業見込）以上
- ② 修得した単位数が1年次の総単位数の80%（卒業見込）以上
- ③ 所定の学費を指定期日までに完納している

### (2) 卒業基準

以下の①～③すべての基準を満たし、2年次末の卒業判定会議で卒業の承認が必要です。

- ① 出席した授業時間数が2年次の総授業時間数の80%以上
- ② 修得した単位数が2年次の総単位数の80%以上
- ③ 所定の学費を指定期日までに完納している

# 東京ブライダル専門学校

## 情報公開資料

- ・ 貸借対照表
- ・ 収支計算書
- ・ 財産目録
- ・ 事業報告書
- ・ 監事による監査報告書

学校法人トラベルジャーナル学園



# 貸借対照表

2023年3月31日

(単位:円)

資 産 の 部	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
科 目			
固 定 資 産	【 19,620,620,580 】	【 18,764,580,211 】	【 856,040,369 】
有 形 固 定 資 産	( 10,526,095,689 )	( 10,742,322,201 )	( △ 216,226,512 )
土 地	6,375,146,785	6,375,146,785	0
建 物	3,765,111,839	3,906,639,812	△ 141,527,973
構 築 物	6,216,146	6,900,457	△ 684,311
教育研究用機器備品	265,897,783	335,585,206	△ 69,687,423
管理用機器備品	21,328,464	27,769,893	△ 6,441,429
図 書	12,800,161	17,576,186	△ 4,776,025
車 両	2	614,075	△ 614,073
建設仮勘定	79,594,509	72,089,787	7,504,722
特 定 資 産	( 6,690,949,346 )	( 5,572,000,000 )	( 1,118,949,346 )
退職給与引当特定資産	156,000,000	165,000,000	△ 9,000,000
減価償却引当特定資産	4,826,000,000	4,807,000,000	19,000,000
施設拡充引当特定資産	600,000,000	600,000,000	0
留学資金引当特定資産	1,108,949,346	0	1,108,949,346
その他の固定資産	( 2,403,575,545 )	( 2,450,258,010 )	( △ 46,682,465 )
電 話 加 入 権	4,274,840	4,274,840	0
施 設 利 用 権	7,344,000	7,344,000	0
保 証 金	1,250,000	1,250,000	0
収 益 事 業 元 入 金	2,084,778,456	2,093,778,456	△ 9,000,000
有 価 証 券	130,425,664	130,425,664	0
保 険 積 立 金	169,257,208	199,451,899	△ 30,194,691
長 期 前 払 金	6,245,377	13,733,151	△ 7,487,774
流 動 資 産	【 1,070,383,759 】	【 1,852,818,377 】	【 △ 782,434,618 】
現 金 預 金	1,036,726,326	1,784,607,724	△ 747,881,398
未 収 入 金	21,270,275	55,924,763	△ 34,654,488
貯 蔵 品	2,327,687	2,005,517	322,170
販 売 用 品	169,811	250,227	△ 80,416
立 替 金	6,792,255	4,236,933	2,555,322
前 払 金	2,972,128	5,494,153	△ 2,522,025
仮 払 金	125,277	299,060	△ 173,783
資 産 の 部 合 計	20,691,004,339	20,617,398,588	73,605,751

(単位:円)

負債の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	【 156,051,025 】	【 165,318,607 】	【 △ 9,267,582 】
退職給与引当金	156,051,025	165,318,607	△ 9,267,582
流動負債	【 1,469,780,881 】	【 1,478,038,256 】	【 △ 8,257,375 】
未払金	110,102,225	134,307,132	△ 24,204,907
前受金	1,347,971,275	1,314,945,404	33,025,871
仮受金	13,250	1,148,560	△ 1,135,310
預り金	11,694,131	27,637,160	△ 15,943,029
負債の部合計	1,625,831,906	1,643,356,863	△ 17,524,957
純資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
基本金			
第1号基本金	15,356,434,125	15,540,981,863	△ 184,547,738
第4号基本金	171,000,000	171,000,000	0
繰越収支差額			
翌年度繰越収支差額	3,537,738,308	3,262,059,862	275,678,446
純資産の部合計	19,065,172,433	18,974,041,725	91,130,708
負債及び純資産の部合計	20,691,004,339	20,617,398,588	73,605,751

## 1. 重要な会計方針

## (1) 引当金の計上基準

## 徴収不能引当金

未収入金の徴収不能に備えるため、個別に見積もった徴収不能見込額を計上している。

## 退職給与引当金

- ① 期末要支給額 248,287,907円の100%を計上している。ただし、東京都私学財団に加入している教職員については同財団よりの交付金相当額を控除した金額の100%を計上している。
- ② 学校法人の役員については、期末要支給額の100%を計上している。

## (2) その他の重要な会計方針

## 有価証券の評価基準及び評価方法

移動平均法に基づく原価法である。

## たな卸資産の評価基準及び評価方法

移動平均法に基づく原価法である。

## 外貨建資産・負債等の本邦通貨への換算基準

外貨建短期金銭債権債務については、期末時の為替相場により円換算しており、外貨建長期金銭債権債務については、取得時又は発生時の為替相場により円換算している。

## 預り金その他経過項目に係る収支の表示方法

立替金、仮払金、預り金及び仮受金に係る収入と支出は相殺して表示している。

## 食堂その他教育活動に付随する活動に係る収支の表示方法

補助活動に係る収支は純額で表示している。

## 2. 重要な会計方針の変更等

なし

## 3. 減価償却累計額の合計額

4,826,063,596 円

## 4. 徴収不能引当金の合計額

0 円

## 5. 担保に供されている資産の種類及び額

なし

## 6. 翌会計年度以後の会計年度において基本金への組入れを行うこととなる金額

0 円

## 7. 当該会計年度の末日において第4号基本金に相当する資金を有していない場合のその旨と対策

第4号基本金に相当する資金を有しており、該当しない。

## 8. その他財政及び経営の状況を正確に判断するために必要な事項

なし



8. その他財政及び経営の状況を正確に判断するために必要な事項

(1) 有価証券の時価情報等

① 時価情報

(単位:円)

種類	当年度(2023年3月31日)		
	貸借対照表計上額	時価	差額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	1,437,653,826	1,618,181,372	180,527,546
(うち満期保有目的の債券)	663,371,019	736,560,800	73,189,781
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	566,825,260	530,404,117	△ 36,421,143
(うち満期保有目的の債券)	232,158,721	211,367,299	△ 20,791,422
合計	2,004,479,086	2,148,585,489	144,106,403
(うち満期保有目的の債券)	895,529,740	947,928,099	52,398,359

② 明細表

(単位:円)

種類	当年度(2023年3月31日)			
	勘定科目	貸借対照表計上額	時価	差額
債券	減価償却引当特定資産	895,529,740	947,928,099	52,398,359
債券	留學資金引当特定資産	1,108,949,346	1,200,657,390	91,708,044
株式	—			
投資信託	—			
貸付信託	—			
その他	—			
	合計	2,004,479,086	2,148,585,489	144,106,403
時価の無い有価証券	有価証券	130,425,664		
償却引当特定資産・留學資金引当特定資産合計		2,004,479,086		
長期有価証券合計		130,425,664		

(2) 学校法人の出資による会社に係る事項

当学校法人の出資割合が総出資額の2分の1以上である会社の状況は次のとおりである。

名称	TRAJAL U.S.A., INC.				
事業内容	教育事業				
資本金	130,000米ドル	130,000株			
学校法人の出資状況	130,000米ドル	130,000株			
出資の状況	2011年6月1日 8,860,416円 26,000株 2011年11月30日 646,666円 2,500株 2011年12月26日 12,674,582円 36,500株 2013年1月10日 107,250,000円 65,000株				
当期中に学校法人が受け入れた配当及び寄付の金額並びに学校法人との資金、取引等の状況	(単位:円)				
	当該会社への支払額	報酬委託手数料 56,458,913			
	(単位:円)				
	期首残高	資金支出等	資金収入等	期末残高	
	当該会社への出資金等	129,425,664	0	0	129,425,664
債務保証	当該会社に債務保証は行っていない。				

名称	株式会社トラベルジャーナルワールド				
事業内容	学校事務代行業				
資本金	1,000,000円	20株			
学校法人の出資状況	1,000,000円	20株			
出資の状況	2019年4月1日 1,000,000円 20株				
当期中に学校法人が受け入れた配当及び寄付の金額並びに学校法人との資金、取引等の状況	(単位:円)				
	当該会社への支払額	該当なし 0			
	(単位:円)				
	期首残高	資金支出等	資金収入等	期末残高	
	当該会社への出資金等	1,000,000	0	0	1,000,000
債務保証	当該会社に債務保証は行っていない。				

## (3) 主な外貨建資産・負債

(単位:円)

科目	外貨額	貸借対照表計上額	年度末日の為替相場による円換算額	換算差額
固定資産(有価証券)	USD 1,465,506.19	129,425,664	194,223,535	64,797,871
流動資産(現金預金)	USD 167,319.93	25,003,980	25,003,980	0
	AUD 32,262.17			

## (4) 純額で表示した補助活動に係る収支

純額で表示した補助活動に係る収支の相殺した科目及び金額は次のとおりである。

(単位:円)

支出	金額	収入	金額
補助活動支出(仕入)	13,264,830	補助活動収入(売上)	15,037,627
		純額	1,772,797

(5) 関連当事者との取引

関連当事者との取引の内容は、次のとおりである。

(単位 円)

属性	役員、法人等の名称	住所	資本金又は出資金	事業内容及び産業	議決権の所有割合	関係内容		取引の内容(注1)	取引金額	勘定科目	期末残高
						役員の兼任等	事業上の関係				
理事長が議決権の過半数を有する会社	朝日ラベルジャーナル	千代田区	75,000,000円	出版業他	-	兼任3人	学校広告	広告料の支払	1,000,000	未払金	156,000
							年間雑誌	購読料の支払	110,000	-	-

(注1) 取引については、市場価格を勘案して一般取引条件と同様に決定している。



# 事業活動収支計算書

2022年 4月 1日から  
2023年 3月31日まで

(単位：円)

	科 目	予 算	決 算	差 異
事業活動収入の部	学生生徒等納付金	( 2,023,541,000 )	( 2,039,402,700 )	( △ 15,861,700 )
	授 業 料	1,671,715,000	1,686,666,700	△ 14,951,700
	施設設備資金	351,826,000	352,736,000	△ 910,000
	手数料	( 17,068,000 )	( 15,951,445 )	( 1,116,555 )
	入学検定料	15,140,000	14,820,000	320,000
	試験料	1,206,000	636,245	569,755
	証明手数料	722,000	495,200	226,800
	寄付金	( 0 )	( 0 )	( 0 )
	経常費等補助金	( 119,917,000 )	( 114,560,900 )	( 5,356,100 )
	地方公共団体補助金収入	117,777,000	0	117,777,000
	東京都補助金収入	1,000,000	47,107,500	△ 46,107,500
	大阪府補助金収入	1,140,000	67,453,400	△ 66,313,400
	付随事業収入	( 2,068,000 )	( 1,692,381 )	( 375,619 )
	補助活動事業収入	1,673,000	1,692,381	△ 19,381
	講習会等収入	395,000	0	395,000
	雑収入	( 7,037,000 )	( 3,605,203 )	( 3,431,797 )
	施設設備利用料	97,000	44,000	53,000
その他雑収入	6,940,000	3,561,203	3,378,797	
教育活動収入計	2,169,631,000	2,175,212,629	△ 5,581,629	
教育活動支出	人件費	( 912,109,000 )	( 860,673,360 )	( 51,435,640 )
	教員人件費	561,610,000	489,438,285	72,171,715
	職員人件費	296,992,000	314,583,016	△ 17,591,016
	役員報酬	30,099,000	30,108,000	△ 9,000
	退職金	8,160,000	9,180,000	△ 1,020,000
	退職給与引当金繰入額	15,248,000	17,364,059	△ 2,116,059
	教育研究経費	( 883,196,000 )	( 868,992,564 )	( 14,203,436 )
	消耗品費	5,927,000	5,206,754	720,246
	事務用品費	315,000	312,676	2,324
	光熱水費	28,135,000	36,381,668	△ 8,246,668
	旅費交通費	3,845,000	1,804,281	2,040,719
	奨学金費	267,076,000	260,417,564	6,658,436
	福利費	7,512,000	5,570,848	1,941,152
	通信運搬費	7,661,000	6,525,653	1,135,347
	印刷製本費	9,259,000	8,081,640	1,177,360
	出版物費	1,277,000	1,038,601	238,399
	研修費	3,791,000	5,053,178	△ 1,262,178
	修繕費	1,300,000	18,331,025	△ 17,031,025
	損害保険料	2,319,000	2,279,578	39,422
	貸借料	1,881,000	1,641,647	239,353
	リース料	132,000	13,332	118,668
	広報費	250,000	0	250,000
諸会議費	1,915,000	1,883,765	31,235	
会費	1,234,000	805,967	428,033	
報酬委託手数料	138,599,000	135,697,468	2,901,532	
生徒活動補助金	100,000	0	100,000	
減価償却額	293,162,000	289,272,471	3,889,529	
渉外費	811,000	508,000	303,000	



# 事業活動収支計算書

2022年 4月 1日から  
2023年 3月31日まで

(単位：円)

		科	目	予	算	決	算	差	異
支出の部		雑費		4,961,000		1,021,298		3,939,702	
		行事費		22,866,000		15,855,463		7,010,537	
		実習費		78,868,000		71,289,687		7,578,313	
		管理経費		( 479,325,000 )	(	478,136,825 )	(	1,188,175 )	
		消耗品費		3,694,000		4,492,834		△ 798,834	
		光熱水費		2,914,000		3,550,383		△ 636,383	
		旅費交通費		13,224,000		13,934,148		△ 710,148	
		福利費		13,702,000		11,823,452		1,878,548	
		通信運搬費		14,265,000		13,417,361		847,639	
		印刷製本費		3,498,000		2,824,229		673,771	
		出版物費		329,000		183,014		145,986	
		修繕費		561,000		415,089		145,911	
		損害保険料		595,000		468,273		126,727	
		貸借料		420,000		479,344		△ 59,344	
		公租公課		3,549,000		2,050,767		1,498,233	
		広報費		347,236,000		346,593,553		642,447	
		諸会議費		1,061,000		1,035,457		25,543	
		会費		5,235,000		2,603,936		2,631,064	
		渉外費		7,919,000		6,342,029		1,576,971	
		報酬委託手数料		19,968,000		23,303,378		△ 3,335,378	
	雑費		1,333,000		3,323,115		△ 1,990,115		
	減価償却額		25,309,000		24,148,919		1,160,081		
	研究費		14,213,000		16,852,999		△ 2,639,999		
	調査費		300,000		294,545		5,455		
	徴収不能額等		( 0 )	(	0 )	(	0 )		
	教育活動支出計		2,274,630,000		2,207,802,749		66,827,251		
	教育活動収支差額		△ 104,999,000		△ 32,590,120		△ 72,408,880		
教育活動外収支	事業活動の収入部	受取利息・配当金		( 45,341,000 )	(	39,080,853 )	(	6,260,147 )	
		その他受取利息・配当金		45,341,000		39,080,853		6,260,147	
		その他の教育活動外収入		( 55,944,000 )	(	92,031,080 )	(	△ 36,087,080 )	
		収益事業収入		55,944,000		43,000,000		12,944,000	
		為替差額		0		49,031,080		△ 49,031,080	
	教育活動外収入計		101,285,000		131,111,933		△ 29,826,933		
	事業活動の支出部	借入金等利息		( 0 )	(	0 )	(	0 )	
その他の教育活動外支出			( 0 )	(	0 )	(	0 )		
	教育活動外支出計		0		0		0		
	教育活動外収支差額		101,285,000		131,111,933		△ 29,826,933		
	経常収支差額		△ 3,714,000		98,521,813		△ 102,235,813		
特別収支	事業活動の収入部	資産売却差額		( 0 )	(	0 )	(	0 )	
		その他の特別収入		( 4,000,000 )	(	681,000 )	(	3,319,000 )	
		施設設備補助金		4,000,000		561,000		3,439,000	
		損害賠償金収入		0		120,000		△ 120,000	
		特別収入計		4,000,000		681,000		3,319,000	
	事業活動の支出部	資産処分差額		( 0 )	(	8,072,105 )	(	△ 8,072,105 )	
		建物等処分差額		0		2		△ 2	
		機器備品処分差額		0		30		△ 30	
		図書処分差額		0		5,204,209		△ 5,204,209	
		保険解約差額		0		2,867,864		△ 2,867,864	

# 事業活動収支計算書

2022年 4月 1日から  
2023年 3月31日まで

(単位：円)

	科 目	予 算	決 算	差 異
	その他の特別支出	( 0 )	( 0 )	( 0 )
	特 別 支 出 計	0	8,072,105	△ 8,072,105
	特 別 収 支 差 額	4,000,000	△ 7,391,105	11,391,105
	【 予 備 費 】	0		0
	基本金組入前当年度収支差額	286,000	91,130,708	△ 90,844,708
	基本金組入額合計	△ 65,542,000	0	△ 65,542,000
	当年度収支差額	△ 65,256,000	91,130,708	△ 156,386,708
	前年度繰越収支差額	3,262,059,862	3,262,059,862	0
	基本金取崩額	0	184,547,738	△ 184,547,738
	翌年度繰越収支差額	3,196,803,862	3,537,738,308	△ 340,934,446

(参考)

事業活動収入計	2,274,916,000	2,307,005,562	△ 32,089,562
事業活動支出計	2,274,630,000	2,215,874,854	58,755,146



財産目録  
(2023年 3月31日)

資産総額	金	20,732,983,095 円
基本財産	金	10,530,370,529 円
運用財産	金	8,070,408,687 円
収益事業用財産	金	2,132,203,879 円
負債総額	金	1,674,332,873 円
正味財産	金	19,058,650,222 円

(1) 資産

1. 基本財産 金 10,530,370,529円

(1)校地等

所在地	面積	金額
東京校A館敷地 東京都中野区東中野3-18-11	871.00 m <sup>2</sup>	2,219,981,250 円
東京校B館敷地 東京都中野区東中野3-17-11	293.64 m <sup>2</sup>	993,729,750 円
大阪校1号館敷地 大阪府大阪市西区江戸堀2-6-29	565.12 m <sup>2</sup>	1,431,803,000 円
大阪校2号館敷地 大阪府大阪市西区江戸堀2-1-24	397.65 m <sup>2</sup>	1,434,105,000 円
大阪校3号館敷地 大阪府大阪市西区江戸堀2-1-25	463.07 m <sup>2</sup>	262,049,529 円
黒磯敷地 栃木県黒磯市青木字大輪地原	3,279.00 m <sup>2</sup>	29,320,000 円
湯河原敷地 静岡県熱海市泉元門川分88-3-417	56.65 m <sup>2</sup>	4,158,256 円
合計	5926.13 m <sup>2</sup>	6,375,146,785 円

(2)校舎等

構造	面積	金額
東京校A館	3,994.75 m <sup>2</sup>	1,315,174,817 円
東京校B館	1,149.58 m <sup>2</sup>	413,438,310 円
大阪校1号館	3,063.63 m <sup>2</sup>	1,020,295,033 円
大阪校2号館	2,520.04 m <sup>2</sup>	502,377,535 円
大阪校3号館	2,894.79 m <sup>2</sup>	487,340,326 円
湯河原 構築物	76.76 m <sup>2</sup>	26,485,818 円
合計	13,699.55 m <sup>2</sup>	3,771,327,985 円

(3)機器備品等

種別	金額
教育研究用機器備品	265,897,783 円
その他の機器備品	21,328,464 円
車 両	2 円
図 書	12,800,161 円
合計	300,026,410 円

(4)その他

種別	金額
建設仮勘定	79,594,509 円
電話加入権	4,274,840 円
合計	83,869,349 円

2. 運用財産 金 8,070,408,687円

(1)現金・預金

種類	金額
現金	2,004,624 円
普通預金	300,505,486 円
定期預金	728,529,740 円
振替貯金	5,686,476 円
合計	1,036,726,326 円

(2)その他

種類	金額
減価償却引当特定資産	4,826,000,000 円
退職給与引当特定預金	156,000,000 円
施設拡充特定預金	600,000,000 円
留学資金引当特定預金	1,108,949,346 円
未収入金	21,270,275 円
前払金	2,972,128 円
保険積立金	169,257,208 円
その他	149,233,404 円
合計	7,033,682,361 円

3. 収益事業用財産 金 2,132,203,879円

種類	金額
普通預金	98,707,462 円
土地	1,097,907,230 円
建物	932,174,862 円
構築物	1,385,569 円
その他	2,028,756 円
合計	2,132,203,879 円

[2] 負債

1. 固定負債 金 156,051,025円

種類	金額
退職給与引当金	156,051,025 円
合計	156,051,025 円

2. 流動負債 金 1,469,780,881円

種類	金額
未払金	110,102,225 円
前受金	1,347,971,275 円
仮受金	13,250 円
預り金	11,694,131 円
合計	1,469,780,881 円

3. 収益事業用負債 金 48,500,967円

種類	金額
未払金	13,411,567 円
前受金	7,363,200 円
預り金	27,726,200 円
合計	48,500,967 円

以上

2022年度

学校法人トラベルジャーナル学園

事業報告書



## 1. 法人の概要

### (1) 建学の精神

#### ○学園理念

本学園は、基本理念を「ホスピタリティ」に置きグローバルな教育サービス事業の展開を通じて地球社会の平和と繁栄に寄与します。

#### ○教育目標

1. 相手の立場に立って考え行動できるホスピタリティ教育  
「相手の立場に立って考え行動できる」資質、能力を、学校生活全般、講義、演習、実習、研修旅行、各種行事を通じて身に付ける。
2. 職業現場で活躍できる職業実務実践教育  
職業現場で活躍できる能力、健全な職業観、専門知識及び技能を、企業等との連携を通して習得する。
3. 生涯にわたって、教養を高めて、自己啓発ができる動機づけ教育  
時代、環境の変化に適応し雇用され続けるために、生涯にわたり自ら学ぶ姿勢を習得する。
4. 地域社会、国際社会で役割を果たせるグローバルな教育  
環境や価値観の異なる人たちと相互理解にいたる能力を身につけ、ホスピタリティ産業全体の発展に貢献できる人材となる。

### (2) 学校法人の沿革

- 1973年 トラベルジャーナル旅行学院開校
- 1975年 (一社)日本旅行業協会(JATA)推薦校となる
- 1977年 (一社)全国旅行業協会(ANTA)推薦校となる
- 1980年 東京都より学校法人、専修学校として認可され、  
トラベルジャーナル旅行専門学校と校名を改める
- 1981年 大阪トラベルジャーナル旅行学院開校  
太平洋アジア観光協会(PATA)日本支部推薦校となる
- 1982年 在日外国観光局協議会(ANTOR-JAPAN)推薦校となる
- 1986年 大阪府より専修学校として認可され、  
大阪トラベルジャーナル旅行専門学校と校名を改める  
アメリカにシアトル校開校
- 1990年 夜間部旅行本科開設
- 1991年 (一社)日本海外ツアーオペレーター協会(OTOA)推薦校となる  
海外ホテル協会(OHEA)推薦校となる
- 1992年 オーストラリアにメルボルン校開校
- 1994年 大阪校、トラジャル旅行ホテル専門学校に校名変更
- 2001年 東京日本語文化学校開校  
(公社)日本ブライダル文化振興協会(BIA)推薦校となる
- 2002年 (一社)日本添乗サービス協会(TCSA)推薦校となる
- 2007年 学校法人トラベルジャーナル学園に法人名変更



ホスピタリティ ツーリズム専門学校に校名変更

ホスピタリティ ツーリズム専門学校大阪に校名変更

2011年 大阪ブライダル専門学校開校

2012年 オーストラリアのメルボルン校開校

2013年 東京ブライダル専門学校開校

東京日本語文化学校開校

2018年 大阪ホテル専門学校開校

大阪テーマパーク・ダンス専門学校開校

2019年 台湾に台北校開校

(4) 学校・学科等の学生数の状況 (2022年4月現在) (単位:人)

学校名・学科名		入学定員数	収容定員数	現員数		摘要
ホスピタリティ ツーリズム 専門学校	観光科	40	80	1年	19	
				2年	25	
				小計	44	
	ホテル科	60	120	1年	52	
				2年	34	
				小計	86	
	テーマパーク科	60	120	1年	41	
			2年	46		
			小計	87		
	総合英語科	20	40	1年	11	
			2年	19		
			小計	30		
	エアライン科	80	160	1年	57	
			2年	71		
			小計	128		
	鉄道科	40	80	1年	51	
			2年	47		
			小計	98		
東京ブライダル 専門学校	ブライダル科	120	240	1年	87	
			2年	88		
			小計	175		
小計		420	840	1年	318	
				2年	330	
				小計	648	

ホスピタリティ・ツーリズム 専門学校大阪	<昼間部> 観光学科	120	240	1年	49	
				2年	68	
				小計	117	
	<夜間部> 観光学科※1	—	20	1年	—	
				2年	3	
				小計	3	
大阪ブライダル 専門学校	<昼間部> ブライダル学科	90	180	1年	70	
				2年	69	
				小計	139	
	<夜間部> ブライダル学科	40	80	1年	13	
				2年	16	
				小計	29	
大阪ホテル 専門学校	<昼間部> ホテル学科	170	340	1年	77	
				2年	87	
				小計	164	
	<夜間部> ホテル学科	60	120	1年	15	
				2年	29	
				小計	44	
大阪テーマパーク・ ダンス専門学校	<昼間部> テーマパーク学科	80	160	1年	70	
				2年	61	
				小計	131	
	<夜間部> テーマパーク学科	40	80	1年	15	
				2年	15	
				小計	30	
小計		600	1,220	1年	309	
				2年	348	
				小計	657	
アメリカ・台湾 留学中	東京	—	—		30	
	大阪	—	—		27	
合計				1年	627	
				2年	678	
				留学中	57	
				合計	1,362	

※1. 1年生の募集を停止した学科



(5) 施設等の状況

①主な施設設備の状況は次のとおりである。

【校地】

施設等	所在地	面積	帳簿価額	備考
東京校A館敷地	東京都中野区東中野 3-18-11	871.00 m <sup>2</sup>	2,219,981,250 円	
東京校B館敷地	東京都中野区東中野 3-17-11	293.64 m <sup>2</sup>	993,729,750 円	
大阪校1号館敷地	大阪府大阪市西区江戸堀 2-6-29	565.12 m <sup>2</sup>	1,431,803,000 円	
大阪校2号館敷地	大阪府大阪市西区江戸堀 2-1-24	397.65 m <sup>2</sup>	1,434,105,000 円	
大阪校3号館敷地	大阪府大阪市西区江戸堀 2-1-25	463.07 m <sup>2</sup>	262,049,529 円	
黒磯敷地	栃木県黒磯市青木字大輪地原 35-2 他	3,279.00 m <sup>2</sup>	29,320,000 円	
湯河原敷地	静岡県熱海市泉元門川分 88-3-117	56.65 m <sup>2</sup>	4,158,256 円	
合計		5,926.13 m <sup>2</sup>	6,375,146,785 円	

【校舎】

施設等	面積	帳簿価額	備考
東京校A館	3,994.75 m <sup>2</sup>	1,312,248,157 円	
東京校B館	1,149.58 m <sup>2</sup>	416,364,970 円	
大阪校1号館	3,063.63 m <sup>2</sup>	1,020,295,033 円	
大阪校2号館	2,520.04 m <sup>2</sup>	502,377,535 円	
大阪校3号館	2,894.79 m <sup>2</sup>	487,340,326 円	
湯河原	76.76 m <sup>2</sup>	26,485,818 円	
構築物		6,216,146 円	
合計	13,699.55 m <sup>2</sup>	3,771,327,985 円	

【収益事業用土地】

施設等	所在地	面積	帳簿価額	備考
ドミール City 東中野	東京都中野区東中野 4-6-6	229.00 m <sup>2</sup>	92,854,868 円	
ドミール City 東中野 II	東京都中野区東中野 3-13-11	416.53 m <sup>2</sup>	669,602,362 円	
コーケン関内ビル	神奈川県横浜市中区南仲通 1-5-1	403.56 m <sup>2</sup>	335,450,000 円	
合計		1,049.09 m <sup>2</sup>	1,097,907,230 円	

【収益事業用建物】

施設等	所在地	面積	帳簿価額	備考
ドミール City 東中野	東京都中野区東中野 4-6-6	1,127.06 m <sup>2</sup>	143,079,967 円	
ドミール City 東中野 II	東京都中野区東中野 3-13-11	1,726.26 m <sup>2</sup>	704,516,195 円	
コーケン関内ビル	神奈川県横浜市中区南仲通 1-5-1	1,835.41 m <sup>2</sup>	84,578,700 円	
構築物			1,385,569 円	
合計		4,688.73 m <sup>2</sup>	933,560,431 円	

②主な施設設備の取得及びその進捗状況

特になし



## 2. 事業の概要

### ～東京～

#### (1) 教育の実績

##### 【ホスピタリティ ツーリズム専門学校】

グローバル化の進展の中で、国際共通語である英語力の向上は観光業界の将来にとって極めて重要であると考え、引き続き、各科に特化した「業界英会話」を強化しました。

また、一人ひとりの個性を尊重し、多様性・国際感覚を育む教育を推進しており、この方針に基づき全科の共通科目として、各業界や日本・世界のホスピタリティ・SDGs を学ぶ「ホスピタリティ・SDGs 研究」、少人数オーダーメイド式学習法を取り入れて個々の得意なことを探究する「ビジネスプレゼンテーション (BTS)」を導入しました。さらに、東西校のカリキュラムを共有することにより、学生の学びの質向上に取り組みました。

##### [企業との連携や課外活動等]

新入生に対して実施するホスピタリティ研修では、各業界の職場見学を行い、学生が将来進む業界で働くイメージをより持つことができました。また、公益財団法人日本財団パラスポーツサポートセンター様にご協力いただき、全科でパラスポーツ体験会を行いました。パリ 2024 パラリンピック出場を目指すパラ・パワーリフティング選手の講演会「現役パラアスリートが伝えるグローバルなホスピタリティに必要な3つのこと」を聴講し、全員でボッチャ競技を体験しました。これにより、障害者に対する理解が深まり、支援の大切さを学びました。

##### <観光科>

12月に旅程管理実務研修として、(株)ツーリズムエキスパート様にご協力いただき、添乗員の資格を取得するための研修(浅草、上野、日本橋)を実施しました。添乗員の誘導方法などを学び、添乗員としての実務に触れ、職業選択の参考や職業観が深まりました。

##### <ホテル科>

1年生全員がホテル企業8社で、夏休み・冬休み期間に、それぞれ企業実習を行いました。現場実習を通して、職業観の育成や企業理解を深めることができ、就職活動の準備となりました。公開授業においては21社35名の方に来校頂き、就職活動を前に貴重な学生と企業の交流の場となりました。

##### <テーマパーク科>

2年生が成果発表として(株)東京ドーム様にて学生の企画したイベントの運営を行いました。当日は多くのお客様にご参加いただき、イベント運営の流れを実体験で学ぶ事が出来ました。1年生全員がテーマパーク企業18社で、夏休み・冬休み期間にそれぞれ企業実習を行いました。複数の企業で実習を行う事で、企業ごとの業務内容、客層の違いを知り、就職活動の参考とする事が出来ました。

##### <エアライン科>

(株)JAL スカイ様(職場見学)やANA ブルーベース様(訓練センター)、JAL 安全啓発センター様を訪問し、お客様から見えない部分を見学することができ、目指す業界の理解が深まりました。1年生が12月に成果発表としてホスピタリティスキルコンテスト(グラン

ドスタッフと客室乗務員の対応力を競うコンテスト)を実施しました。航空会社の人事、訓練部の方々(8社10名)も審査員として参加いただき、客観的な評価をいただきました。

<総合英語>

1・2年生が、成果発表としてスピーチコンテストを実施しました。外資系ホテルやクルーズ会社より審査員を招待し、さらにYoutubeで保護者や教員の方に配信し、留学前後のレベルアップを感じていただき、高評価をいただきました。

<クルーズコース>

ゆたか倶楽部様と法人契約(講師)を締結し、業界人からの授業を通じて、業界の理解、職業観の育成を行いました。

<鉄道科>

1年生が、4月より鉄道会社12社のご協力をいただき、朝の通勤時の駅務補助を行う「駅実習」を全員必修で実施しました。9月には、東日本旅客鉄道総合研修センター様のご協力のもとに安全体験見学を行いました。就職に向けて安全への意識を高めることが出来ました。

【東京ブライダル専門学校】

2年間で「成果発表課題解決型学習」を通じて、人間力とコーディネートスキルの習得を目指しました。また、ホスピタリティ ツーリズム専門学校同様、一人ひとりの個性を尊重し、多様性・国際感覚を育む教育を推進しています。

また、昨年に引き続き、企業の人事担当者をお招きした交流会を本校内で実施し、求人者の安定確保に努めました。

- ① 成果発表「模擬人前挙式(1年生)」「セールススキルコンテスト(2年生)」を実施しました。成果発表「リアルウェディング(2年生)」ではLGBTQを対象とした、多様性に特化した挙式を挙行しました。
- ② ㈱テイクアンドギヴ・ニーズ様と連携し、第一線で活躍されている社員を講師として派遣していただき、毎週1回、放課後に特別授業を実施しました。自身の経験をもとに結婚式の魅力やプランニングについて実践に即した内容を直接指導いただくことで、学生の業界への理解を深めることができました。

(2) 主な資格の取得実績 (※2校合計)

資格名称	取得者数
手話技能検定3級	12名
手話技能検定4級	104名
みんなの外国語検定ゴールド	1名
みんなの外国語検定シルバー	6名
みんなの外国語検定ブロンズ	266名



TOEIC 900 点以上	1 名
TOEIC 800 点以上	4 名
TOEIC 700 点以上	10 名
TOEIC 600 点以上	24 名
TOEIC 500 点以上	26 名
総合旅行業務取扱責任者	2 名
国内旅行業務取扱管理者	3 名
サービス介助士	121 名
ホテルビジネス実務検定ベーシック 2 級	41 名
レストランサービス技能検定 3 級	26 名
フォーマルスペシャリスト検定準 2 級	18 名
AFS フラワースタイリスト検定	55 名
ブライダルコーディネーター技能検定 3 級	126 名

### (3) 奨学金の実績 (2 校合計)

#### 【2022 年度入学者に対する奨学金】

##### ① 特待生制度 10 名

筆記試験とグループ面接の結果に応じて支給される奨学金制度

##### ② 指定校推薦入学選考 70 名

指定高校からの推薦入学生に対する奨学金

##### ③ AO 入学選考 232 名

同選考を受験した入学生に対する奨学金

##### ④ AO 選抜生制度 13 名

AO 合格者がプレゼンテーションの結果で支給される奨学金制度

##### ⑤ 英語資格取得奨学金制度 56 名

英語の資格取得に応じて支給される奨学金制度

##### ⑥ 家族推薦奨学金 13 名

入学生の家族が、本校の在校生・卒業生の場合に適用される奨学金

#### 【アメリカ・台湾留学制度生に対する奨学金】

長期留学制度奨学金 30 名

1 年次の出席率等、一定の条件をクリアした留学制度生に対して留学中に適用される奨学金

#### 【外国人留学生に対する奨学金】

私費外国人留学生学習奨励費：1 年生 8 名、2 年生 8 名

日本語資格取得奨学金：1 年生 7 名、2 年生 2 名

#### (4) 就職の実績

新型コロナウイルスの影響による採用人数の減少、厳選採用に対処すべく、学内での就職セミナーを実施しました。また、オンラインを含めた学内説明会やWEB面接対策などを実施し、学生ごとに指導方法を変えて、より個に特化した指導の強化に努めました。

	ホスピタリティ ツーリズム 専門学校	東京ブライダル 専門学校
就職希望者数	222 名	81 名
就職決定者数	222 名	81 名
内 関連業界就職者	178 名	73 名
その他業界就職者	44 名	8 名

#### (5) 学生募集 (2023 年度生)

	学 科	入学定員	入学生	充足率
ホスピタリティ ツーリズム 専門学校	観光科	40 名	11 名	27.5%
	ホテル科	60 名	39 名	65.0%
	テーマパーク科	60 名	53 名	88.3%
	総合英語科	20 名	16 名	80.0%
	鉄道科	40 名	50 名	125.0%
	エアライン科	80 名	51 名	63.8%
	小 計	300 名	220 名	73.3%
東京ブライダル 専門学校	ブライダル科	120 名	121 名	100.8%
合 計		420 名	341 名	81.2%

#### (6) その他

- ① 学生用パソコンの入れ替え購入等により、私立専修学校教育環境整備費助成事業の「教育設備装置整備助成金」として 561 千円を受給することができました。  
(ホスピタリティ ツーリズム専門学校)
- ② 自己点検・自己評価の実施により、「私立専修学校教育環境整備費補助金（専修学校評価促進）」として、400 千円（1 校 200 千円）を受給することができました。
- ③ 職業教育の質の向上を図り、多くの専門人材を育成する教育の推進を目的とした「私立専修学校職業実践専門課程推進補助金」として、1,135 千円を受給することができました。(ホスピタリティ ツーリズム専門学校観光科、東京ブライダル専門学校ブライダル科)



～大阪～

(1) 教育の実績

【ホスピタリティ ツーリズム専門学校大阪】

変革が続く観光業界で求められる資質と能力の育成に向け、専門性の高い職業教育と、人間性の涵養を目的とするカリキュラムを提供し、職業観の形成と人間力の向上を目指した教育を実施しました。職業教育として、企業や行政機関のご協力を得た産学連携プログラムや、業界人講演、企業研修を全科で実施し、実践型教育を展開しました。

[企業との連携や課外活動等]

<旅行科>

(一社)全国農協観光協会様、東近江観光協会様との産学連携により、東近江市の地域おこし・町づくりを目的としたツアー企画に取り組み、地域観光の魅力と課題を学びました。

<鉄道サービス科>

JR 東日本総合研修センター様にて安全研修に参加し、鉄道業界における安全管理の重要性について深い学びを得ました。

<エアライン科>

㈱ジェイエア様の客室乗務員の方々から、業界で求められる接客応対についての特別講義をいただき、業界動向や業務内容についての理解を深めることができました。

【大阪ブライダル専門学校】

企業の協力を得た産学連携プログラムによる職業教育と、人間力を磨く教育を柱としたカリキュラムを提供しました。職業教育では、マルチタスクの必要性の高まりにより、職種に偏らない幅広い知識と柔軟性を養いました。コロナ禍で結婚式の価値が見直されたことを背景に、人物重視のカウンセリング力の向上を身につけさせる指導を行いました。

[企業との連携や課外活動等]

- ① 大阪万博記念公園内にある㈱ブラネットワーク様の迎賓館の会場をお借りして「ブライダル発表会」を実施し、ブライダル企業 24 社 38 名の方にご来場いただきました。ウェディングプランナーコースは「アフターコロナを見据えた、今後の結婚式のカタチ」をテーマにプレゼンテーションを行い、ブライダル業界の方々に審査員としてご協力いただきました。コスチュームアドバイザーコースは「Time～時～」をテーマにドレスショーを展開しました。10 着のドレスを発表し、企業様に投票いただきました。
- ② ㈱クレ・ドゥ・レーヴとの産学連携により、ブライダルフェアの企画・提案・プレゼンテーションを行いました。現役ウェディングプランナーの方に審査いただき、現場の現状や最新トレンド、お客様のニーズを学び満足度の高い授業となりました。

【大阪ホテル専門学校】

「おもてなしのプロフェッショナル」育成の基盤となる汎用的能力の向上を目的とし、ホスピタリティ科目、産学連携科目に『ICT×アクティブラーニング』を活用したプロジ

ェクト型教育を実施しました。また、企業と連携を図った長期間の現場実習を通して、職業観を育む教育活動に取り組みました。

[企業との連携や課外活動等]

- ① ホテルW大阪様とタイアップし、ロビーフロアの装飾や観光マップの企画・立案・プレゼンテーションを行いました。固定観念に囚われない発想で、現代の社会需要を考慮した学生らしい新提案が生まれたと高評価をいただきました。
- ② ANAクラウンプラザホテル大阪様の全面協力のもと、実践的なレストラン運営を学ぶ機会の提供を行いました。サービスや調理について料理長から直接指導をいただき、おもてなしの極意を学びました。
- ③ ハイアットリージェンシー大阪様とタイアップし、ホテルマナー研修を実施しました。宿泊体験、業界人講演、施設見学、テーブルマナー講習等の研修を通じて、お客様・スタッフ双方の立場から、ホテルの仕事について学びました。

【大阪テーマパーク・ダンス専門学校】

テーマパークスタッフ科では、学生の主体性とオーナーシップマインドの醸成を目的に、グループワークやディベートを重視したカリキュラムを提供しました。また、豊かな表情や、感情表現の手法を体得するため、表現力を育む授業を展開しました。

ダンス・エンターテイナー科では、人前でのパフォーマンス回数を増やし、学生自身で課題を見つけ改善を促すことで、心技体の向上に結び付けることができました。

[企業との連携や課外活動等]

- ① 鈴鹿サーキット・レゴランドジャパン様の施設見学会を実施し、人事担当者や卒業生による会社説明会を開催しました。先輩からの体験談を通して、テーマパークで働く意義や、細かな業務内容を把握することができました。
- ② 鈴鹿サーキット様とタイアップし、鈴鹿サーキットのエンターテイメントショーに出演いたしました。プロと同じステージに立ち、お客様の前でのパフォーマンスを経験することで、魅せる喜びと難しさを学ぶ有意義な機会となりました。
- ③ 名古屋アンパンマンこどもミュージアム様の閉演後のステージにて、学生が企画したダンスショーを披露し、現役エンターテイナーの方々にフィードバックをいただきました。また、現役ステージプロデューサーの方から、オーディションに向けた指導をいただくことができました。

(2) 主な資格の取得実績 (4校合計)

資格名称	取得者数
総合旅行業務取扱管理者	1名
国内旅行業務取扱管理者	14名
ビジネス能力検定ジョブパス3級	205名
アマデウスシステム検定 Specialist	16名
みんなの外国語検定ゴールド	3名



みんなの外国語検定シルバー	8名
みんなの外国語検定ブロンズ	18名
サービス介助士	27名
TOEIC 900点以上	1名
TOEIC 800点以上	4名
TOEIC 700点以上	3名
TOEIC 600点以上	7名
TOEIC 500点以上	12名
ホテルビジネス実務検定ベーシック2級	61名
レストランサービス技能検定3級	46名
サービス接遇検定2級	1名
ファミリーアドバイザー検定	74名
全国手話検定4級	73名
全国手話検定5級	86名
ブライダルコーディネーター技能検定3級	105名

### (3) 奨学金の実績 (4校合計)

#### 【2022年度入学者に対する奨学金】

##### ① 特待生制度 17名

筆記試験とグループ面接の結果に応じて支給される奨学金

##### ② 指定校推薦入学選考 11名

指定高校からの推薦入学生に対する奨学金

##### ③ AO入学選考 273名

同選考を受験した入学生に対する奨学金

##### ④ AO選抜生制度 49名

同選抜において優秀なプレゼンテーションを行った入学生に対する奨学金

##### ⑤ 英語資格取得奨学金制度 35名

英語の資格取得に応じて支給される奨学金

##### ⑥ 家族推薦奨学金 21名

入学生の家族が、本校の在校生・卒業生の場合に適用される奨学金

#### 【2022年度2年次生に対する奨学金】

##### ライセンス奨学金対象者 20名

資格の取得数、難易度に応じてポイントが加算され、規定以上のポイントを取得した学生に適用される奨学金

#### 【アメリカ・台湾留学制度生に対する奨学金】

##### 長期留学制度奨学金 27名

1年次の出席率等、一定の条件をクリアした留学制度生に対して留学中に適用される奨学金

【外国人留学生に対する奨学金】

特待生制度：1年生 1名

指定校推薦入学選考：1年生 3名

日本語資格取得奨学金：1年生 5名、2年生 4名

私費外国人留学生学習奨励金：1年生 9名、2年生 21名

(4) 就職の実績

	ホスピタリティ ツーリズム 専門学校大阪	大阪 ブライダル 専門学校	大阪ホテル 専門学校	大阪テーマ パーク・ダンス 専門学校
就職希望者数	71名	81名	109名	74名
就職決定者数	70名	80名	108名	73名
内 関連業界就職者	62名	70名	102名	66名
その他業界就職者	8名	10名	6名	7名

(5) 学生募集 (2023年度生) ※昼間部のみ

	学 科	入学定員	入学生	充足率
ホスピタリティツーリズム 専門学校大阪	観光学科	100名	59名	59.0%
大阪ブライダル 専門学校	ブライダル学科	140名	135名	96.4%
大阪ホテル 専門学校	ホテル学科	150名	87名	58.0%
大阪テーマパーク ・ダンス専門学校	テーマパーク学科	80名	89名	111.3%
	合 計	470名	370名	78.7%

(6) その他

- 私立専修学校専門課程の教員研修と生徒の修学支援に係る体制整備を目的とした「質保証・向上補助金」として、1,195千円を受給することができました (4校合計)
- (一社)日本旅行業協会様主催の「学生と旅行会社で作る海外旅行企画コンテスト」に5チームが参加し、1チームがグランプリ賞 (作品名：持続可能な日本をつくるのは私たち！SDGs先進国フィンランド7日間) を受賞しました。(ホスピタリティツーリズム専門学校大阪)



### 3. その他の主な事業

#### 1) グローバル化の推進

「長期留学制度奨学金」61.8万円の利用で年間学費98万円にて、アメリカ（シアトル）、又は台湾へ1年間長期留学できる制度を導入しています。この長期留学により、語学力（英語、中国語）・国際感覚の優れた学生を当学園からより多く輩出することを目指しています。

##### <アメリカ長期留学制度>

2022年度はアメリカ（シアトル）にある提携校を受入先として、53名の学生を送り出しました。

##### 【留学から帰国した学生のTOEIC結果】

	東京	大阪	全体
TOEIC 平均点	551 点	574 点	562 点
渡航前の平均点	404 点	380 点	394 点
平均上昇点	151 点	189 点	168 点
最高得点	815 点	885 点	885 点
最高上昇点	255 点	350 点	350 点

##### <台湾長期留学制度>

2022年度は台湾にある提携校を受け入れ先として4名の学生を送り出しました。

#### 2) 職業実践専門課程

ホスピタリティ ツーリズム専門学校 観光科

東京ブライダル専門学校 ブライダル科

ホスピタリティ ツーリズム専門学校大阪 観光学科

大阪ブライダル専門学校 ブライダル学科

4校は、「職業実践専門課程」に認定されており、教育課程編成委員会及び学校関係者評価委員会を通じて外部の業界専門家の意見も参考にしながら教育内容の見直しと充実化に努めました。東京校においては、2022年度にホテル科、テーマパーク科、エアライン科の3科が新たに認定を受けました。

※職業実践専門課程とは、専修学校専門課程であって、職業に必要な実践的かつ専門的な能力を育成することを目的として専攻分野における実務に関する知識、技術及び技能について組織的な教育を行うものを文部科学大臣が認定して推奨するものです。

#### 3) 修学支援

文部科学省の「高等教育の修学支援新制度（通称：高等教育無償化制度）」の対象校として、本学園が設置する全学校（東京校2校、大阪校4校）が認定されており、東京校98名（授業料減免額45,972,500円）、大阪校148名（授業料減免額66,258,400円）に修学支援を行いました。

4) SDGs (持続可能な開発目標) への取り組み

各学科での学びに加え、国際問題、環境問題、人権問題などを通して、SDGs の担い手を教育の現場から育成することが求められています。その為には、まずは教職員が SDGs に関する理解を深めるとともに、学校教育を通じて学生への指導と浸透の為の活動に学園全体で取り組んでいます。

5) 外部監査人による会計監査

内部監査については定期的実施しておりますが、学校法人会計や関連法規等に即した適正な会計処理が行われているかを外部の第三者の専門家(公認会計士)にチェックして頂くことで、学園及び学校としての財務の健全性を確保し、学生・保護者へ安心して学ぶことができる学校として認知してもらう為、外部監査人による会計監査を3年連続で実施しました。

6) 施設の有効活用

本学園の施設跡地を活用した賃貸マンション「ドミールCity 東中野」、「ドミールCity 東中野II」を外部業者への一括賃貸方式で運営し、事業用賃貸ビルとして取得した「コーケン関内ビル」を法人向けに賃貸をしております。

3棟での賃貸料による収益事業収入を安定確保することにより、学校経営の財政的基盤を強化して教育効果の向上に役立てることを目指しています。

7) 同窓会奨学金の活用

将来目指す業界においてどのように活躍・貢献したいかの明確なビジョンを持っている旺盛な学習意欲のある在校生をサポートする為、卒業生からの同窓会会費の一部を「同窓会奨学金」(各年次で5万円)として、2022年4月より創設しました。2022年度1年生の受給者は15名となりました。

なお、本学園の学校教育に賛同される方に広く寄付金を募り、寄付者が税制上の優遇措置を認められる「特定公益増進法人」の認定を2021年度に受けています。

8) グローバル化の推進

観光・ブライダル業界の第一線で活躍する人材を輩出するリーディングスクールとして、競合他校との明確な差別化をより一層推し進めていく為のグローバル展開を推進しています。2024年度生より実施する全校全学科1年生を対象とする英語学習に特化した1ヵ月間国内留学制度(御殿場キャンパス)だけでなく、希望制である長期留学制度においても幅広い選択肢を追加することとし、2026年度プログラム開始に向けて、2023年3月にハワイ・カピオラニ大学と提携契約を締結しました。2023年度にはメルボルンの大学と提携契約を予定しています。

9) トルコ・シリア大地震への災害支援

2023年2月6日(月)に発生したトルコ・シリア大地震の災害において、被害に遭われた皆様を支援するため、役員・教職員並びに卒業生同窓会からの義援金162,000円を日本赤十字社へ寄付させて頂きました。



10) ハラスメント防止への取り組み

すべての教職員と学生等の人権が尊重され、ハラスメントのない環境で教育しやすく、働きやすい職場を守ることを目指す為、2022年4月1日よりハラスメントの防止等に関する規程及びガイドラインを策定し、学内での啓蒙活動に努めています。

## 4. 財務の概要

### (1) 決算の概要

#### ① 事業活動収支計算書の状況

事業活動収入計は23億701万円、予算比で3,209万円増加し、事業活動支出計は22億1,587万円、予算比で5,876万円減少しました。その結果、基本金組入前当年度収支差額は9,113万円、予算比で9,084万円の増加となりました。

#### 《教育活動収支》

教育活動収入計は21億7,521万円、予算比で558万円増加し、教育活動支出計は22億780万円、予算比で6,683万円減少しました。その結果、教育活動収支差額は▲3,259万円、予算比で7,241万円増加しました。主な内訳は以下の通りです。

- 1) 学生生徒納付金は、進級者が予測数より増加したため、20億3,940万円となり、予算比で1,586万円増加しました。
- 2) 手数料は、入学検定料において受験者が予想数より減少したため、1,595万円となり、予算比で112万円減少しました。
- 3) 雑収入は、学生から徴収している卒業アルバム代を会計処理の変更により卒業アルバム制作費と相殺したため、361万円となり、予算比で343万円減少しました。
- 4) 人件費は、教職員の退職・休職による補充を行わなかったことにより、8億6,067万円となり、予算比で5,144万円減少しました。
- 5) 教育研究経費・管理経費は、電気代等の高騰による光熱水費の増加、校舎改修による修繕費が増加しましたが、新型コロナウイルスの影響により国内外での課外活動や各種イベント、学生募集における高校訪問ガイダンスが一部実施できなかったため、合計13億4,713万円となり、予算比で1,539万円減少しました。

#### 《教育活動外収支》

教育活動外収入計は1億3,111万円、予算比で2,983万円増加し、教育活動外支出はありませんでしたので、教育活動外収支差額は1億3,111万円となりました。

#### 《経常収支差額》

上述の結果、経常収支差額は9,852万円、予算比で1億224万円増加しました。

#### 《特別収支》

特別収入計は68万円、予算比で332万円減少し、特別支出計は予算比で807万円増加した結果、特別収支差額は▲739万円、予算比で1,139万円減少しました。



② 貸借対照表の状況

留学資金引当特定資産は、アメリカ留学制度における現地への委託費用の支払用として調達し保有しているドル建て資金を新たに特定資産に計上しています。現預金は、留学資金特定資産へ振り替えを行ったため減少しました。

③ 収益事業の状況

ドミール City 東中野、ドミール City 東中野Ⅱ、コーケン関内ビルの3棟の賃貸事業に関わるものです。売上高は1億1,761万円、販売費及び一般管理費は6,772万円、営業外収益は18万円となりました。その結果、経常利益は5,007万円となりました。

(2) 主な財務比率比較

(%)

比率名	算式	2022年度	全国平均※2	比較した場合
学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒納付金}}{\text{経常収入}}$	88.4	79.0	—
人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	37.3	42.5	低い方が良い
教育研究・管理経費比率	$\frac{\text{教育研究(管理)経費}}{\text{経常収入}}$	58.4	45.4	高い方が良い
負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{純資産 ※1}}$	8.7	21.5	低い方が良い

※1 純資産＝基本金＋繰越収支差額

※2 2020年度数値（専修学校全国平均：「今日の私学財政」専修学校各種学校編参照）

# 監査報告書

2023年5月18日

学校法人 トラベルジャーナル学園

理事会 御中

評議員会 御中

学校法人 トラベルジャーナル学園

監事 芦田 哲也 

監事 平鹿 雅之 

私たちは、学校法人トラベルジャーナル学園の監事として、私立学校法第37条第3項に基づいて、同学園の2022年度(2022年4月1日から2023年3月31日まで)における事業報告書、財産目録及び計算書類を含め、学校法人の業務及び財産並びに理事の業務執行の状況について監査を行いました。

監査の結果、学校法人の業務及び財産並びに理事の業務執行の状況に関し、不正の行為又は法令若しくは寄付行為に違反する重大な事実のないことを認めます。

以上



東京ブライダル専門学校  
情報公開資料

—自己評価報告書—

学校法人トラベルジャーナル学園

2021年度  
東京ブライダル専門学校

自己評価報告書

2022年 7月

学校法人トラベルジャーナル学園  
東京ブライダル専門学校



## ■学園の現況

### (1) 学校名及び設置者

学校名 : 学校法人トラベルジャーナル学園 東京ブライダル専門学校  
設置者 : 森谷 博  
校長 : 内齒 幸一

### (2) 所在地及び認可年月日

所在地 : 東京都中野区東中野 3 丁目 17 番 11 号  
設立日 : 平成 25 年 4 月 1 日  
学校法人認可日 : 昭和 55 年 3 月 10 日  
専修学校認可日 : 平成 24 年 10 月 30 日

### (3) 沿革と特色

学校法人トラベルジャーナル学園が運営するホスピタリティ ツーリズム専門学校は、海外旅行の自由化と東京オリンピック開催（1964年）に伴い、旅行業界の「即戦力として活躍できる人材」の育成要望に応え、1973年3月に創立した。設立時は旅行業界への人材を育成する教育機関であったが、その後、ホテル、テーマパーク、エアライン、空港ならびに航空貨物、鉄道業界の人材育成を行う学科を開講する一方、夜間部も開講し、ホスピタリティならびにツーリズム産業全般の人材育成を行う総合専門学校へと成長した。こうした学校の変容に対し、校舎移転、校名変更を行い、2013年に創立40年を迎え、学園全体で卒業生約44,000名（2020年3月卒業生含む）を数える学校となった。

学校法人トラベルジャーナル学園が運営する東京ブライダル専門学校は、ホスピタリティ ツーリズム専門学校（当時はトラベルジャーナル旅行専門学校）に2001年設置したブライダル学科が発展し分校化されたもので、ブライダル業界への人材育成による日本式婚礼文化の保存と新たな婚礼の創出、ブライダル業界の成熟と発展を目的とし、2013年4月に開校した単科の専修学校である。

## ■学園理念

本学は、基本理念を「ホスピタリティ」に置き、グローバルな教育サービス事業の展開を通じて、地球社会の平和と繁栄に寄与します。

## ■教育理念

グローバルな視点を持ち、職場現場でホスピタリティを実践し、人と社会に貢献できる人財を育成します。

## ■学校の教育方針・目標

私たちは、観光・サービス業界で求められるプロフェッショナルを育成するため、4つの教育を行います。

1. 相手の立場に立って考え、行動できるホスピタリティ教育
2. 職業現場で活躍できる職業実務実践教育
3. 生涯にわたって、教養を高め、自己啓発ができる動機づけ教育
4. 地域社会、国際社会で役割を果たせるグローバルな教育

ホスピタリティとは、「おもてなし」や「心くばり」、「思いやり」を意味し、本学ではホスピタリティを「相手の立場に立って考え行動する」と定義づけ、すべての教育行為の根幹としている。このホスピタリティの実現のためには、学生だけではなく、それを教育する教職員にもホスピタリティ能力の習得を求めており、学生及び教職員全体での取り組みにより、ホスピタリティマインドの習得を目指している。



## 基準 1 教育理念 目標

### (1) 評価項目

	評価項目	優れている…3	
		適切…2	不適切…1
01	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	2	
02	学校における職業教育の特色があるか	3	
03	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3	
04	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	3	
05	各学科の教育目標、育成人材像は、学科などに対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	2	

### (2) 評価項目に対する現状と課題、改善策など

本学は、教育理念、教育目的、教育目標等は明確なビジョンを定め、常に変化する社会経済のニーズを反映し、広くビジネス社会で必要とされる能力（共通科目）と対象業界で必要とされる能力（専門科目）をカリキュラム導入し教育を展開している。今後、世界各国から様々な方が多数訪日されることを想定し、英語や手話など接客能力向上のための科目を導入強化したため、「02」を評価 3 とした。また「03」に関しては、変化に対応するために新学校や新学科を学内プロジェクトにおいて検討するなど、業界ニーズの獲得を行っており評価 3 とした。「04」に関して評価を 3 とした。保護者通信発行（年 2 回）、保護者向け就職説明会（1 年次）、保護者向け留学説明会を実施し、情報提供と連携を密にしている。保護者通信では、学校行事や学校生活の紹介、就職活動状況、主要資格検定結果報告、各学科別に活動状況を報告している。また、就職説明会では、各科毎に今後の活動スケジュールや、業界特性を説明、進路決定までの協調をお願いしている。

## 基準 2 学校運営

### (1) 評価項目

	評価項目	優れている…3	
		適切…2	不適切…1
01	目的等に沿った運営方針が策定されているか	2	
02	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	2	
03	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	2	
04	人事・給与に関する規定等は整備されているか	2	
05	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	2	
06	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	2	
07	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	2	
08	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3	

(2) 評価項目に対する現状と課題、改善策など

本学においては、年度毎に学園理念に基づいた事業計画を部門単位で策定し、理事会において実施状況の精査が行われている。また意思決定の流れや人事給与規定、個人情報保護、研修に関しては、すべて就業規則、規定集、内規、学園内通達等において規定され、組織的に取り組んでいる。

「08」は基幹システムにより、入学から卒業までの学籍を一元管理している他、学園全体の情報共有を目的としたグループウェアと、担任と学生が相互に活用できるコミュニケーションツール及び授業支援アプリ（Microsoft Teams、ロイロノート・スクール）を導入し、情報の一斉配信や限定した対象者への情報発信が可能となり、効率化が図れたため評価3とした。

### 基準3 教育活動

(1) 評価項目

	評価項目	優れている…3 適切…2 不適切…1
01	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	2
02	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	2
03	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	2
04	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3
05	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3
06	関連分野における実践的な職業教育（産学接続によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	3
07	授業評価の実施・評価体制はあるか	2
08	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3
09	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	2
10	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	2
11	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	2
12	関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	3
13	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか	2
14	職員の能力開発のための研修等が行われているか	3

(2) 評価項目に対する現状と課題、改善策など

本学の編成するカリキュラムに関しては、学園の教育理念と社会経済の変化を考慮し、ホスピタリ



ティをベースに社会人として必須の能力を「共通科目」、対象業界で必要としている専門の能力を「専門科目」と位置付け、各科目の学習目標や評価方法、取得目標資格をシラバスに明記し全学生に履修させている。カリキュラムの編成は、各業界出身者または業界から派遣された講師が行っている。

「04」について今後の業界における IT 及び AI 活用の必然性から、タブレット端末を 2020 年度から導入し、テキスト等教材のデジタル化、授業支援アプリを活用し教材の配布や質疑応答をタブレット活用する工夫をおこなっており、評価を 3 とした。

「05」に関しては評価を 3 とした。2014 年より職業実践専門課程教育編成委員会を組織し、業界で求められる人材教育について企業様と意見交換を実施し、カリキュラムの作成、見直しを行っている。毎年 10 月に「ブライダル業界人財活用セミナー」を主催し、当校が抱える教育課題についてフォーラムを行いカリキュラムの作成、見直しに反映させている。(2020 年度、2021 年度は新型コロナの影響により実施できず)

「06」についても評価を 3 とした。授業を週 4 日制(火～金)とし、週末(土日)は結婚式場企業 12 社と連携し、結婚式の接客サービスの実習を行い、企業からの評価に基づき単位化し実践的な教育を行っている。

「08」は評価を 3 とした。セールススキルの授業において、結婚式場企業より業務委託として講師派遣、成果発表として「セールススキルコンテスト」を開催、業界企業から審査員を招聘し、新規接客のロールプレイの外部評価・フィードバックを成績に反映させている。

## 基準 4 学修成果

### (1) 項目評価

	評価項目	優れている…3
		適切…2 不適切…1
01	就職率の向上が図られているか	3
02	資格取得率の向上が図られているか	2
03	退学率の低減が図られているか	3
04	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	2
05	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	2

### (2) 評価項目に対する現状と課題、改善策など

就職指導については、各業界を担当に持つ専任スタッフが業務として行い、採用ならびに求人情報の獲得、学内説明会の誘致、学生への個別指導などを行っている。2019 年度の就職希望者に対する就職決定率は 100%、卒業生数に対する就職決定率は 99%と高水準を維持しているため、「01」の評価を 3 とした。

資格検定については、「共通科目」の中で全学生が取得目標とするものと、各科で取得目標とするものに分け、さらに英語に関してはレベル別授業を展開し、資格取得を奨励している。2018 年度より、国家検定化した「ブライダルコーディネーター技能検定」の 3 級を学生全員に必須受験させている。※ 2020 年度 合格率 64.2% (全国 67.0%)、2021 年度は新型コロナの影響により未受験



「03」退学率低減の理由として、従来のクラス担任による年間2回の面談に加え、2013年度より教職員にカウンセリング講座の受講を進め、2016年に全教職員がカウンセリング講座を修了し様々な問題を抱えた学生に対応できる体制（バディティーチャー）を構築した。

「04」「05」卒業生の評価および卒業後のキャリア形成に関しては、評価を2とした。2016年から学園として毎年科別に同窓会を企画実施することとし、2019年11月にブライダル科の同窓会を実施。卒業生がより集まりやすい環境とするため、土日の午後開催や卒業年度ごとの開催を企画する。2019年度より、毎年就職数の多い重点企業に内定した学生に対し、企業カルテ及び学生カルテを作成し、就業定着フォローアップ体制を構築、卒業生の早期離職を防止するため、在校中から卒業後最低1年間は定期的に連絡を取り合い、問題の早期発見に努め、卒業生の社会人としての自立を促している。

## 基準5 学生支援

### (1) 項目評価

	評 価 項 目	優れている…3 適切…2 不適切…1	
		01	進路・就職に関する支援体制は整備されているか
02	学生相談に関する体制は整備されているか	3	
03	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	2	
04	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	2	
05	課外活動に対する支援体制は整備されているか	2	
06	学生の生活環境への支援は行われているか	2	
07	保護者と適切に連携しているか	3	
08	卒業生への支援体制はあるか	2	
09	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	2	
10	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア・職業教育の取組が行われているか	2	

### (2) 評価項目に対する現状と課題、改善策など

学生の学校生活を支援する体制は、就職担当、クラス担任、バディティーチャー、学生課が中心となっており、相談室、保健室などの施設を有している。

「01」に関しては、各業界を担当に持つ専任スタッフが業務として行い、求人情報の獲得、学内説明会の誘致、学生への個別指導などを行っているため評価3とした。

「02」は2013年度より教職員にカウンセリング講座受講を進め、2016年に全教職員がカウンセリング講座を修了した。様々な問題を抱えた学生に対応できる体制を構築しており評価を3とした。

学生の経済的および生活環境への支援に関しては学生課や就職課が中心となって、学費の納入や研修先企業の紹介など経済的および生活支援などの相談に応じている。

保護者に対しては、学生の成績表を送付し学習状況の報告（年2回）を実施している。情報提供と連携を密にしている。事故発生時の対応について内規化し、学生に問題が発生した場合の教職員の早期対応を行っている。卒業生に対しては、就業斡旋の他、同窓会組織の設立と同窓会実施、卒業生向け機関紙を発行し、卒業後の交流も盛んである。

## 基準6 教育環境

### (1) 項目評価

	評価項目	優れている…3 適切…2 不適切…1
01	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	3
02	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3
03	防災に対する体制は整備されているか	2

### (2) 評価項目に対する現状と課題、改善策など

本学は、より実際の職業体験が行えるよう、学内に演習または実技の施設を有しており、「01」は評価3とした。

- ・チャペル（挙式の演習） ※音響照明設備と併設
- ・フィッティングルーム（和洋装衣装の実習室）
- ・図書室
- ・ドレッシングルーム（メイクなどの実習）
- ・バンケットルーム（披露宴の実習） ※音響照明設備を併設

各教室にワイヤレスのインクジェットプリンターを設置し、利便性を高めている。

また、「03」は、企業実習・課外活動・成果発表・研修旅行（海外）をカリキュラム編成するとともに、外国人留学生に加え海外就業を希望する学生に対応するため、就職担当とは別に海外インターンシップ専任の部署を設け、就業先の拡大を海外にまで広げており、評価3とした。

東日本大震災の教訓から、防災マニュアルを見直し策定し、一方、教職員や学生、近隣住民に対し、備蓄品を確保し備えている。また、入学時には中野区消防署に依頼し避難訓練を全学生対象に実施し、防災教育を施している。

## 基準7 学生の受入れ募集

### (1) 項目評価

	評価項目	優れている…3 適切…2 不適切…1
01	学生募集活動は、適正に行われているか	3
02	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	2
03	学納金は妥当なものとなっているか	2

### (2) 評価項目に対する現状と課題、改善策など

「01」及び「02」については、募集開始時期やパンフレットの記載内容等、関係機関との申し合わせに基づき、適正に行われている。教育成果に関しても、事実や実績に基づいた正確な情報をホームページや追加送付物等で適宜発信している。

「03」は本校の教育内容を鑑みて、妥当なもの判断する。



## 基準 8 財務

### (1) 項目評価

	評 価 項 目	優れている…3	
		適切…2	不適切…1
01	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3	
02	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	2	
03	財務について会計監査が適正に行われているか	2	
04	財務情報公開の体制整備はできているか	2	

### (2) 評価項目に対する現状と課題、改善策など

「01」については、無借金による学校運営を実現しており、中長期的にも盤石な体制となっている。

「02」は部門毎・月次毎の予算・実績精査が役員会において毎月なされており、有効かつ妥当なものとなっている。

「03」は監査法人の公認会計士による監査を実施している。

「04」は2013年度分より公開している。

## 基準 9 法令等の遵守

### (1) 項目評価

	評 価 項 目	優れている…3	
		適切…2	不適切…1
01	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3	
02	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	2	
03	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	2	
04	自己評価結果を公開しているか	2	

### (2) 評価項目に対する現状と課題、改善策など

法令の遵守と適正な運営をおこなっているが、2018年度より新たに教職員の倫理規定を定め、人権（ハラスメントなど）や情報漏洩（SNSなど）に教育者として守るべき規範を定めた。

個人情報に関しては、就業規則で規定している他、ICカードによるPCセキュリティを導入していることと、学生と教職員のネットワークを分けており、不正アクセスと情報の漏えいを防いでいる。自己評価に関しては、毎年実施している。

## 基準 10 社会貢献・地域貢献

### (1) 項目評価

	評 価 項 目	優れている…3 適切…2 不適切…1
01	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	2
02	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	2
03	地域社会との連携、協力体制をとっているか	2

### (2) 評価項目に対する現状と課題、改善策など

当項目については、中野区や近隣小学校のPTA、町内会からの要請で、学生ボランティアを派遣し、学修成果を発表し、好評をいただいている。また非常時に備え、備蓄品を保有し施設として提供の用意がある。結果、総合的評価として適切であると考えている。

2015年度よりボランティアサークルを発足させ、ボランティア活動への学生参加を促進した。近隣清掃、神奈川県湘南地区ビーチクリーン活動、東京マラソン運営サポート、熊本地震復興支援（熊本県阿蘇地区内牧温泉）などを行っている。

## 基準 11 国際交流

### (1) 項目評価

	評 価 項 目	優れている…3 適切…2 不適切…1
01	留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	3
02	留学生の受入れ・派遣、在籍管理などにおいて適切な手続き等がとられているか	3
03	留学生の学習・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	3

### (2) 評価項目に対する現状と課題、改善策など

本校は入学前から一貫した体制をとっており、外国人留学生の受け入れは、募集・教育・事務部門のそれぞれで留学生の担当者を置き、募集に関しては日本語学校との連携により、入学後はクラス担任により学習や生活の指導、就職課により就職進路指導を行っている。また、学生課では入国管理局との事務折衝を実施している。日本人学生の海外派遣に関しては留学を制度化しており、アメリカ（シアトル）、台湾に現地法人を設置し、毎年留学者を多数派遣しているため、評価3とした。

以上



東京ブライダル専門学校  
情報公開資料

－学校関係者評価結果－

学校法人トラベルジャーナル学園

2021年度  
東京ブライダル専門学校

学校関係者評価報告

2022年 7月

学校法人トラベルジャーナル学園  
東京ブライダル専門学校



## ■学園の現況

### (1) 学校名及び設置者

学校名 : 学校法人トラベルジャーナル学園 東京ブライダル専門学校  
設置者 : 森谷 博  
校長 : 内菌 幸一

### (2) 所在地及び認可年月日

所在地 : 東京都中野区東中野 3 丁目 17 番 11 号  
設立日 : 平成 25 年 4 月 1 日  
学校法人認可日 : 昭和 55 年 3 月 10 日  
専修学校認可日 : 平成 24 年 10 月 30 日

### (3) 沿革と特色

学校法人トラベルジャーナル学園が運営するホスピタリティ ツーリズム専門学校は、海外旅行の自由化と東京オリンピック開催（1964年）に伴い、旅行業界の「即戦力として活躍できる人材」の育成要望に応え、1973年3月に創立した。設立時は旅行業界への人材を育成する教育機関であったが、その後、ホテル、テーマパーク、エアライン、空港ならびに航空貨物、鉄道業界の人材育成を行う学科を開講する一方、夜間部も開講し、ホスピタリティならびにツーリズム産業全般の人材育成を行う総合専門学校へと成長した。こうした学校の変容に対し、校舎移転、校名変更を行い、2013年に創立40年を迎え、学園全体で卒業生約44,000名（2020年3月卒業生含む）を数える学校となった。

学校法人トラベルジャーナル学園が運営する東京ブライダル専門学校は、ホスピタリティ ツーリズム専門学校（当時はトラベルジャーナル旅行専門学校）に2001年設置したブライダル学科が発展し分校化されたもので、ブライダル業界への人材育成による日本式婚礼文化の保存と新たな婚礼の創出、ブライダル業界の成熟と発展を目的とし、2013年4月に開校した単科の専修学校である。

## ■ 学園理念

本学は、基本理念を「ホスピタリティ」に置き、グローバルな教育サービス事業の展開を通じて、地球社会の平和と繁栄に寄与します。

## ■ 教育理念

グローバルな視点を持ち、職場現場でホスピタリティを実践し、人と社会に貢献できる人財を育成します。

## ■ 学校の教育方針・目標

私たちは、観光・サービス業界で求められるプロフェッショナルを育成するため、4つの教育を行います。

1. 相手の立場に立って考え、行動できるホスピタリティ教育
2. 職業現場で活躍できる職業実務実践教育
3. 生涯にわたって、教養を高め、自己啓発ができる動機づけ教育
4. 地域社会、国際社会で役割を果たせるグローバルな教育

ホスピタリティとは、「おもてなし」や「心くばり」、「思いやり」を意味し、本学ではホスピタリティを「相手の立場に立って考え行動する」と定義づけ、すべての教育行為の根幹としている。このホスピタリティの実現のためには、学生だけではなく、それを教育する教職員にもホスピタリティ能力の習得を求めており、学生及び教職員全体での取り組みにより、ホスピタリティマインドの習得を目指している。

## 基準 1 教育理念 目標

### (1) 評価項目

	評価項目	優れている…3	
		適切…2	不適切…1
01	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	2	
02	学校における職業教育の特色があるか	3	
03	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3	
04	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	3	
05	各学科の教育目標、育成人材像は、学科などに対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	2	

### (2) 評価項目に対する現状と課題、改善策など

本学は、教育理念、教育目的、教育目標等は明確なビジョンを定め、常に変化する社会経済のニーズを反映し、広くビジネス社会で必要とされる能力（共通科目）と対象業界で必要とされる能力（専門科目）をカリキュラム導入し教育を展開している。今後、世界各国から様々な方が多数訪日されることを想定し、英語や手話など接客能力向上のための科目を導入強化したため、「02」を評価 3 とした。また「03」に関しては、変化に対応するために新学校や新学科を学内プロジェクトにおいて検討するなど、業界ニーズの獲得を行っており評価 3 とした。「04」に関して評価を 3 とした。保護者通信発行（年 2 回）、保護者向け就職説明会（1 年次）、保護者向け留学説明会を実施し、情報提供と連携を密にしている。保護者通信では、学校行事や学校生活の紹介、就職活動状況、主要資格検定結果報告、各学科別に活動状況を報告している。また、就職説明会では、各科毎に今後の活動スケジュールや、業界特性を説明、進路決定までの協調をお願いしている。

## 基準 2 学校運営

### (1) 評価項目

	評価項目	優れている…3	
		適切…2	不適切…1
01	目的等に沿った運営方針が策定されているか	2	
02	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	2	
03	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	2	
04	人事・給与に関する規定等は整備されているか	2	
05	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	2	
06	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	2	
07	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	2	
08	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3	



(2) 評価項目に対する現状と課題、改善策など

本学においては、年度毎に学園理念に基づいた事業計画を部門単位で策定し、理事会において実施状況の精査が行われている。また意思決定の流れや人事給与規定、個人情報保護、研修に関しては、すべて就業規則、規定集、内規、学園内通達等において規定され、組織的に取り組んでいる。

「08」は基幹システムにより、入学から卒業までの学籍を一元管理している他、学園全体の情報共有を目的としたグループウェアと、担任と学生が相互に活用できるコミュニケーションツール及び授業支援アプリ（Microsoft Teams、ロイロノート・スクール）を導入し、情報の一斉配信や限定した対象者への情報発信が可能となり、効率化が図れたため評価3とした。

### 基準3 教育活動

(1) 評価項目

	評価項目	優れている…3 適切…2 不適切…1	
01	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	2	
02	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	2	
03	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	2	
04	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3	
05	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3	
06	関連分野における実践的な職業教育（産学接続によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	3	
07	授業評価の実施・評価体制はあるか	2	
08	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3	
09	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	2	
10	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	2	
11	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	2	
12	関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	3	
13	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか	2	
14	職員の能力開発のための研修等が行われているか	3	

(2) 評価項目に対する現状と課題、改善策など

本学の編成するカリキュラムに関しては、学園の教育理念と社会経済の変化を考慮し、ホスピタリ

ティをベースに社会人として必須の能力を「共通科目」、対象業界で必要としている専門の能力を「専門科目」と位置付け、各科目の学習目標や評価方法、取得目標資格をシラバスに明記し全学生に履修させている。カリキュラムの編成は、各業界出身者または業界から派遣された講師が行っている。

「04」について今後の業界における IT 及び AI 活用の必然性から、タブレット端末を 2020 年度から導入し、テキスト等教材のデジタル化、授業支援アプリを活用し教材の配布や質疑応答をタブレット活用する工夫をおこなっており、評価を 3 とした。

「05」に関しては評価を 3 とした。2014 年より職業実践専門課程教育編成委員会を組織し、業界で求められる人材教育について企業様と意見交換を実施し、カリキュラムの作成、見直しを行っている。毎年 10 月に「ブライダル業界人財活用セミナー」を主催し、当校が抱える教育課題についてフォーラムを行いカリキュラムの作成、見直しに反映させている。(2020 年度、2021 年度は新型コロナの影響により実施できず)

「06」についても評価を 3 とした。授業を週 4 日制(火～金)とし、週末(土日)は結婚式場企業 12 社と連携し、結婚式の接客サービスの実習を行い、企業からの評価に基づき単位化し実践的な教育を行っている。

「08」は評価を 3 とした。セールススキルの授業において、結婚式場企業より業務委託として講師派遣、成果発表として「セールススキルコンテスト」を開催、業界企業から審査員を招聘し、新規接客のロールプレイの外部評価・フィードバックを成績に反映させている。

## 基準 4 学修成果

### (1) 項目評価

	評 価 項 目	優れている…3	
		適切…2	不適切…1
01	就職率の向上が図られているか	3	
02	資格取得率の向上が図られているか	2	
03	退学率の低減が図られているか	3	
04	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	2	
05	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	2	

### (2) 評価項目に対する現状と課題、改善策など

就職指導については、各業界を担当に持つ専任スタッフが業務として行い、採用ならびに求人情報の獲得、学内説明会の誘致、学生への個別指導などを行っている。2019 年度の就職希望者に対する就職決定率は 100%、卒業生数に対する就職決定率は 99%と高水準を維持しているため、「01」の評価を 3 とした。

資格検定については、「共通科目」の中で全学生が取得目標とするものと、各科で取得目標とするものに分け、さらに英語に関してはレベル別授業を展開し、資格取得を奨励している。2018 年度より、国家検定化した「ブライダルコーディネーター技能検定」の 3 級を学生全員に必須受験させている。※ 2020 年度 合格率 64.2% (全国 67.0%)、2021 年度は新型コロナの影響により未受験



「03」退学率低減の理由として、従来のクラス担任による年間 2 回の面談に加え、2013 年度より教職員にカウンセリング講座の受講を進め、2016 年に全教職員がカウンセリング講座を修了し様々な問題を抱えた学生に対応できる体制（バディティーチャー）を構築した。

「04」「05」卒業生の評価および卒業後のキャリア形成に関しては、評価を 2 とした。2016 年から学園として毎年科別に同窓会を企画実施することとし、2019 年 11 月にブライダル科の同窓会を実施。卒業生がより集まりやすい環境とするため、土日の午後開催や卒業年度ごとの開催を企画する。2019 年度より、毎年就職数の多い重点企業に内定した学生に対し、企業カルテ及び学生カルテを作成し、就業定着フォローアップ体制を構築、卒業生の早期離職を防止するため、在校中から卒業後最低 1 年間は定期的に連絡を取り合い、問題の早期発見に努め、卒業生の社会人としての自立を促している。

## 基準 5 学生支援

### (1) 項目評価

	評価項目	優れている…3 適切…2 不適切…1
01	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3
02	学生相談に関する体制は整備されているか	3
03	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	2
04	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	2
05	課外活動に対する支援体制は整備されているか	2
06	学生の生活環境への支援は行われているか	2
07	保護者と適切に連携しているか	3
08	卒業生への支援体制はあるか	2
09	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	2
10	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア・職業教育の取組が行われているか	2

### (2) 評価項目に対する現状と課題、改善策など

学生の学校生活を支援する体制は、就職担当、クラス担任、バディティーチャー、学生課が中心となっており、相談室、保健室などの施設を有している。

「01」に関しては、各業界を担当に持つ専任スタッフが業務として行い、求人情報の獲得、学内説明会の誘致、学生への個別指導などを行っているため評価 3 とした。

「02」は 2013 年度より教職員にカウンセリング講座受講を進め、2016 年に全教職員がカウンセリング講座を修了した。様々な問題を抱えた学生に対応できる体制を構築しており評価を 3 とした。

学生の経済的および生活環境への支援に関しては学生課や就職課が中心となって、学費の納入や研修先企業の紹介など経済的および生活支援などの相談に応じている。

保護者に対しては、学生の成績表を送付し学習状況の報告（年 2 回）を実施している。情報提供と連携を密にしている。事故発生時の対応について内規化し、学生に問題が発生した場合の教職員の早期対応を行っている。卒業生に対しては、就業斡旋の他、同窓会組織の設立と同窓会実施、卒業生向け機関紙を発行し、卒業後の交流も盛んである。



## 基準6 教育環境

### (1) 項目評価

	評 価 項 目	優れている…3
		適切…2 不適切…1
01	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	3
02	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3
03	防災に対する体制は整備されているか	2

### (2) 評価項目に対する現状と課題、改善策など

本学は、より実際の職業体験が行えるよう、学内に演習または実技の施設を有しており、「01」は評価3とした。

- ・チャペル（挙式の演習） ※音響照明設備と併設
- ・フィッティングルーム（和洋装衣装の実習室）
- ・図書室
- ・ドレッシングルーム（メイクなどの実習）
- ・バンケットルーム（披露宴の実習） ※音響照明設備を併設

各教室にワイヤレスのインクジェットプリンターを設置し、利便性を高めている。

また、「03」は、企業実習・課外活動・成果発表・研修旅行（海外）をカリキュラム編成するとともに、外国人留学生に加え海外就業を希望する学生に対応するため、就職担当とは別に海外インターンシップ専任の部署を設け、就業先の拡大を海外にまで広げており、評価3とした。

東日本大震災の教訓から、防災マニュアルを見直し策定し、一方、教職員や学生、近隣住民に対し、備蓄品を確保し備えている。また、入学時には中野区消防署に依頼し避難訓練を全学生対象に実施し、防災教育を施している。

## 基準7 学生の受入れ募集

### (1) 項目評価

	評 価 項 目	優れている…3
		適切…2 不適切…1
01	学生募集活動は、適正に行われているか	3
02	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	2
03	学納金は妥当なものとなっているか	2

### (2) 評価項目に対する現状と課題、改善策など

「01」及び「02」については、募集開始時期やパンフレットの記載内容等、関係機関との申し合わせに基づき、適正に行われている。教育成果に関しても、事実や実績に基づいた正確な情報をホームページや追加送付物等で適宜発信している。

「03」は本校の教育内容を鑑みて、妥当なもの判断する。

## 基準 8 財務

### (1) 項目評価

	評 価 項 目	優れている…3	
		適切…2	不適切…1
01	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3	
02	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	2	
03	財務について会計監査が適正に行われているか	2	
04	財務情報公開の体制整備はできているか	2	

### (2) 評価項目に対する現状と課題、改善策など

「01」については、無借金による学校運営を実現しており、中長期的にも盤石な体制となっている。

「02」は部門毎・月次毎の予算・実績精査が役員会において毎月なされており、有効かつ妥当なものとなっている。

「03」は監査法人の公認会計士による監査を実施している。

「04」は 2013 年度分より公開している。

## 基準 9 法令等の遵守

### (1) 項目評価

	評 価 項 目	優れている…3	
		適切…2	不適切…1
01	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3	
02	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	2	
03	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	2	
04	自己評価結果を公開しているか	2	

### (2) 評価項目に対する現状と課題、改善策など

法令の遵守と適正な運営をおこなっているが、2018 年度より新たに教職員の倫理規定を定め、人権（ハラスメントなど）や情報漏洩（SNS など）に教育者として守るべき規範を定めた。

個人情報に関しては、就業規則で規定している他、IC カードによる PC セキュリティを導入していることと、学生と教職員のネットワークを分けており、不正アクセスと情報の漏えいを防いでいる。自己評価に関しては、毎年実施している。



## 基準 10 社会貢献・地域貢献

### (1) 項目評価

	評価項目	優れている…3
		適切…2 不適切…1
01	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	2
02	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	2
03	地域社会との連携、協力体制をとっているか	2

### (2) 評価項目に対する現状と課題、改善策など

当項目については、中野区や近隣小学校のPTA、町内会からの要請で、学生ボランティアを派遣し、学修成果を発表し、好評をいただいている。また非常時に備え、備蓄品を保有し施設として提供の用意がある。結果、総合的評価として適切であると考えている。

2015年度よりボランティアサークルを発足させ、ボランティア活動への学生参加を促進した。近隣清掃、神奈川県湘南地区ビーチクリーン活動、東京マラソン運営サポート、熊本地震復興支援（熊本県阿蘇地区内牧温泉）などを行っている。

## 基準 11 国際交流

### (1) 項目評価

	評価項目	優れている…3
		適切…2 不適切…1
01	留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	3
02	留学生の受入れ・派遣、在籍管理などにおいて適切な手続き等がとられているか	3
03	留学生の学習・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	3

### (2) 評価項目に対する現状と課題、改善策など

本校は入学前から一貫した体制をとっており、外国人留学生の受け入れは、募集・教育・事務部門のそれぞれで留学生の担当者を置き、募集に関しては日本語学校との連携により、入学後はクラス担任により学習や生活の指導、就職課により就職進路指導を行っている。また、学生課では入国管理局との事務折衝を実施している。日本人学生の海外派遣に関しては留学を制度化しており、アメリカ（シアトル）、台湾に現地法人を設置し、毎年留学生を多数派遣しているため、評価3とした。

以上

<『C 当該学校に係る情報』の『ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法』  
に記入した方法で公表している教育活動等の状況に関する資料についてその内容を公表し  
ていることを示す資料>

【学校情報は以下 HP にて公開】

<https://tokyo-bridal.ac.jp/>

